スタイルコート配線カバー〈ダイジェスト版〉 オプション

取付説明書 － スタイルコート、スタイルコートL －

●このたびは、当社製品をお買いあげいただきましてまことにありがとうございます。
●この取付説明書に示した表示記号の内容は、製品を安全に正しく施工していただき、施主様等の危害や損害を未然に防止するためのものです。
表示記号の内容を良く理解したうえで、本書の内容（指示）にしたがってください。

＜施工の前に＞

⚠ 注 意

●正しく施工、組付けをするために、施工前に必ず取付説明書をお読みください。
●製品の施工については、必ず取付説明書にしたがってください。
●梱包明細表で必要な部材、部品が揃っているか確認してください。

＜施工上のご注意＞

⚠ 注 意

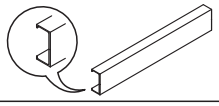
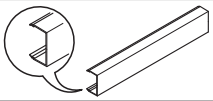
●施工工事にあたっては、安全に施工を行なってください。
・作業服および保護具（保護帽、安全帯、眼、手、足の保護具）を正しく使用してください。
・作業場所の整理整頓を行なうとともに、安全確保を行なってください。特に高所作業での安全確保、倒壊防止、照明による照度の確保など。
・器具、工具、保護具などの機能を確認し、使用してください。
・作業は、相互の作業と各作業工程を考慮して進めてください。免許、技能講習、特別教育が必要な作業は、有資格者が行なってください。
・作業者が相互に安全確認を行なってください。健康状態を十分に確認し、健康管理を実施してください。
・万が一、事故が発生した際には、直ちに手当を行ない、救助を第一に心がけてください。
●取付説明書の順序通りに組付けてください。製品の強度など、性能が低下する場合があります。
●ボルト、ネジは弊社純正品の規定本数を確実に締付け、固定してください。
●アルミ製品が異種金属と接触する場合は、絶縁処理をしてください。
●製品の改造は絶対にしないでください。
●施工終了後は、ボルト、ネジなどにゆるみがないか確認してください。
●施工中についた汚れは取除き、誤ってキズをつけた場合は補修塗料で補修してください。

＜電気配線工事について＞

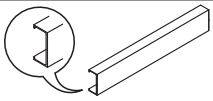
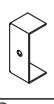
⚠ 注 意

●AC100Vの電線の埋設工事、配線作業に関しては、電気工事店の有資格者に依頼してください。
●施工には、過電流保護付漏電ブレーカーのほか、別途埋設用PF管、電線ケーブル、アース棒が必要になりますので、用意してください。
●電源用電線ケーブルは必ず、過電流保護付漏電ブレーカーに接続してください。
●小形漏電ブレーカー（過電流保護付き漏電ブレーカー）は、使用量に合わせて選択してください。弊社規格品は、定格電圧100V、定格電流15Aです。それ以上の電流を使用するおそれのある場合は別途手配してください。
●電動シャッターには必ず、アース（D種接地工事）をとってください。
●次のような場所にはワイヤレス壁スイッチを設置しないでください。
・シャッターの開閉が見えない場所
・湿気が多い場所、屋外など直接雨に濡れるおそれがある場所
・直射日光があたる場所、暖房近くなどの高温になる可能性がある場所
・腐食性ガスや可燃性ガスが発生する場所、薬品を常時使用する場所

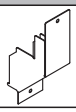
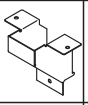
【1】配線カバー（桁・前後梁） オプション

名　称	略　図	員　数 スタイルコート	員　数 スタイルコートL
配線カバー目隠（桁・前後梁兼用）L＝4000		1	―
配線カバー（スタイルコートL桁用）L＝4000		―	1
配線カバー端部金具		2	2
【1-1】φ4×40ナベドリルネジ		3	―
【1-2】φ4×13ナベドリルネジ		―	3

【2】配線カバー目隠 オプション

名　称	略　図	員　数
配線カバー目隠（桁・前後梁兼用）L＝4000		1
配線カバー 端部金具		2
【2-1】φ4×40ナベドリルネジ		3

【3】配線カバー 桁ー目隠コーナー部品　オプション

名　称	略 図	員　数		
		天井なし		天井あり
		スタイルコート	スタイルコートL	
カバーキャップA		ー	1	ー
カバーキャップB		1	ー	ー
カバーキャップC		ー	ー	1
【3-1】φ4×40ナベドリルネジ		2	2	2
【3-2】φ4×19ナベドリルネジ		3	3	3

【5】配線カバー中間柱　オプション

名　称	略　図	員　数	
		スイッチ取付用	スイッチ取付なし
配線縦カバーB		ー	1
配線縦カバーC		1	ー
配線縦ベース　中間柱用		1	1
配線カバー端部キャップA		1	1
配線カバー端部キャップB		1	1
【5-1】φ4×8 特サラタッピンネジ3種（D=6）		6	6
【5-2】φ4×13ナベドリルネジ		21	21
【5-3】φ4×20 トラスタッピンネジ3種（D=8）（※4）		9	9

（※4）【5-3】は、スイッチ取付けなしの場合は不要ですが、市販のスイッチやコンセントを取付けの際に使用してください。

【6】スマート防水コンセント　オプション

名　称	略　図	員数
スマート防水コンセント		1

【7】防水埋込スイッチ　オプション

名　称	略　図	員数
防水埋込スイッチ		1

【4】配線カバー主柱　オプション

名　称	略　図	員　数（換気扇用）	
		防水コンセント取付用	防水コンセント取付なし
配線縦カバーA		ー	1
配線縦カバーD		1	ー
配線縦ベース　主柱用		1	1
配線縦ベース主柱用補完材（※1）		1	1
配線カバー端部キャップA（※2）		1	1
配線カバー端部キャップB		1	1
【4-1】φ4×8 特サラタッピンネジ3種（D=6）		6	6
【4-2】φ4×13ナベドリルネジ		21	21
【4-3】φ4×20 トラスタッピンネジ3種（D=8）（※3）		9	9

（※1）配線縦ベース主柱用補完材は、天井ありの場合は不要です。
（※2）配線カバーキャップAは、天井ありの場合は不要です。
（※3）【4-3】は、（換気扇用）防水コンセント取付けなしの場合は不要ですが、市販のスイッチやコンセントを取付けの際に使用してください。

【8】（配線カバー）ガードプレート　オプション

名　称	略　図	員数
ガードプレート		1
ガードプレートパッキン		1

【9】漏電ブレーカー　オプション

名　称	略　図	員数
小形漏電ブレーカー（※5）		1

（※5）小形漏電ブレーカーの取付ネジは、現場手配です。
φ4×35ナベタッピンネジ3種以上の長さのネジを手配してください。
弊社規格品は、定格電圧100V、定格電流15Aです。
それ以上の電流の場合は別途市販品を手配してください。

1　配線カバーの取付け　オプション

1. 施工前の重要確認事項

1-1　配線カバー主柱・中間柱の切断

表1-1　配線カバー主柱取付けの場合

	部材寸法	必要寸法		
		天井あり	天井なし	
			スタイルコート	スタイルコートL
配線縦カバーA・D	2516.5	2393	2449.5	2516.5（切断なし）
配線縦ベース主柱用	2305.5	2305.5（切断なし）		
配線縦ベース主柱用補完用	153.5	不要（※1）	86.5	153.5（切断なし）

表1-2　配線カバー中間柱取付けの場合

	部材寸法	必要寸法			
		スタイルコート		スタイルコートL	
		天井あり（採光梁下までの高さ）	天井なし	天井あり（天井までの高さ）	天井なし
配線縦カバーB・C 配線縦ベース中間柱用	2516.5	2449.5		2393	2516.5 （切断なし）

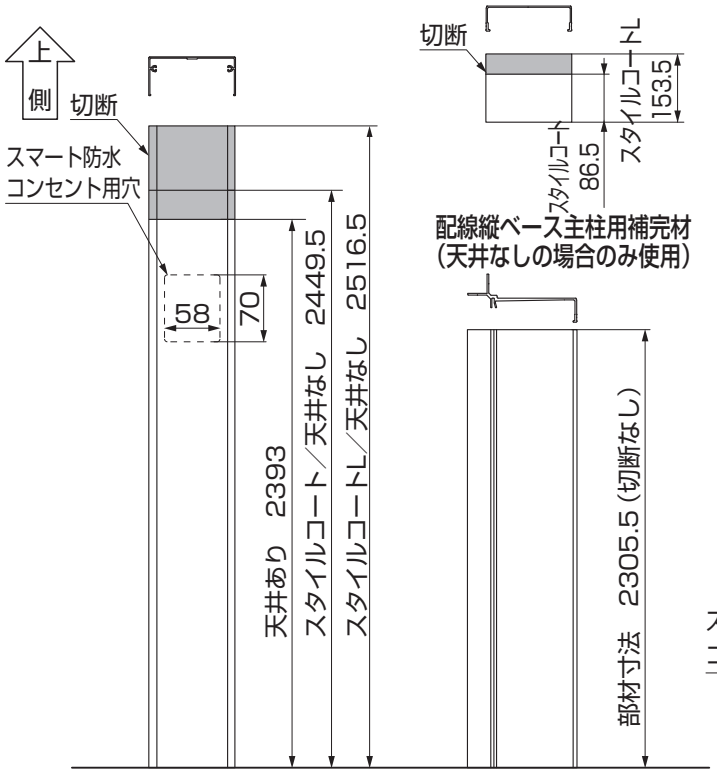


図1-1　配線カバー主柱の切断

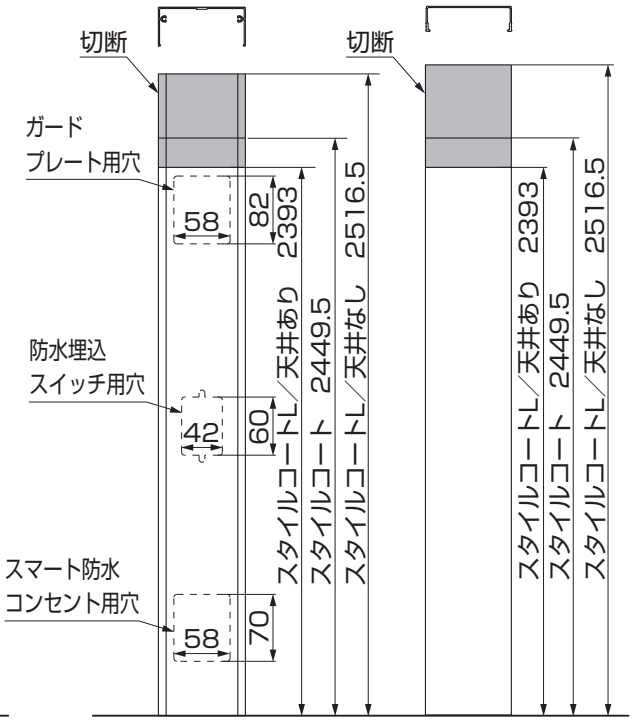


図1-2　配線縦ベース中間柱の切断

①配線縦カバー、配線縦ベース主柱用補完材、配線縦ベース中間柱用は、表1-1、表1-2の寸法表を参照して、必要寸法に現場加工してください。

ポイント

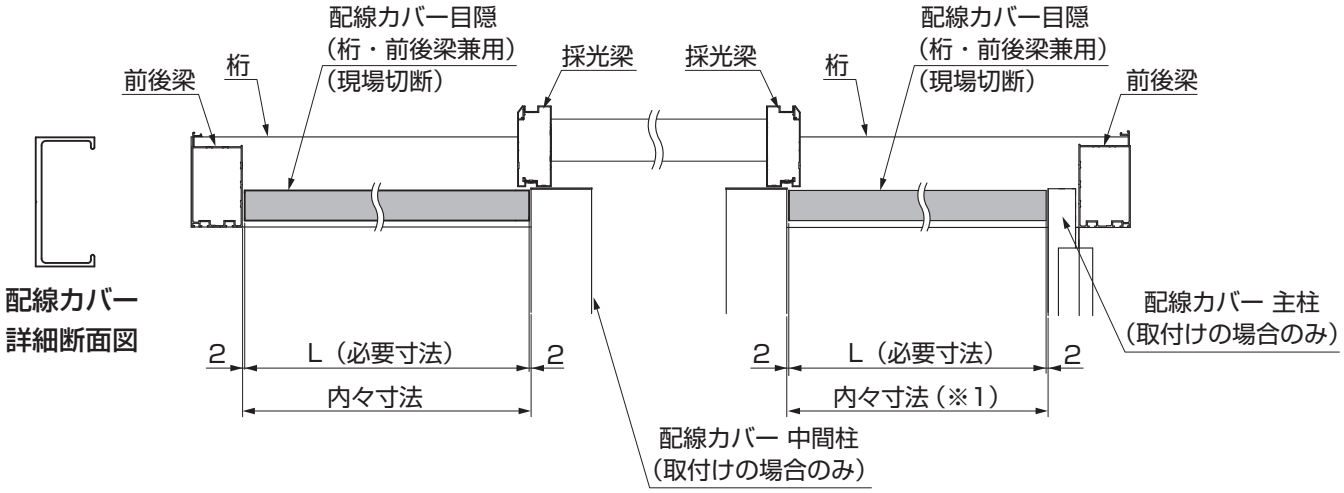
●配線縦カバーの切断（現場加工）は、必要寸法に必ず上端を切断してください。（図1-1、図1-2参照）

補足

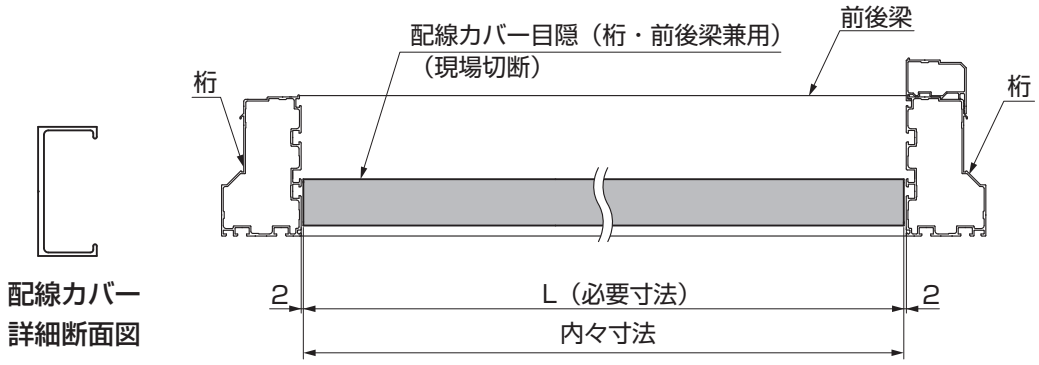
●配線縦ベース主柱用補完材は、天井ありの場合は不要です。（表1-1参照）（※1）

1-2　配線カバー目隠（桁・前後梁兼用）の切断

（1）スタイルコートの場合



奥行き方向（桁に取付けの場合）



間口方向（前後梁に取付けの場合）

図1-3　配線カバー目隠（桁・前後梁兼用）天井なしの場合の切断〈スタイルコート〉

①配線カバー目隠（桁・前後梁兼用）を、内々寸法を測定して、切断（現場加工）してください。（図1-3参照）

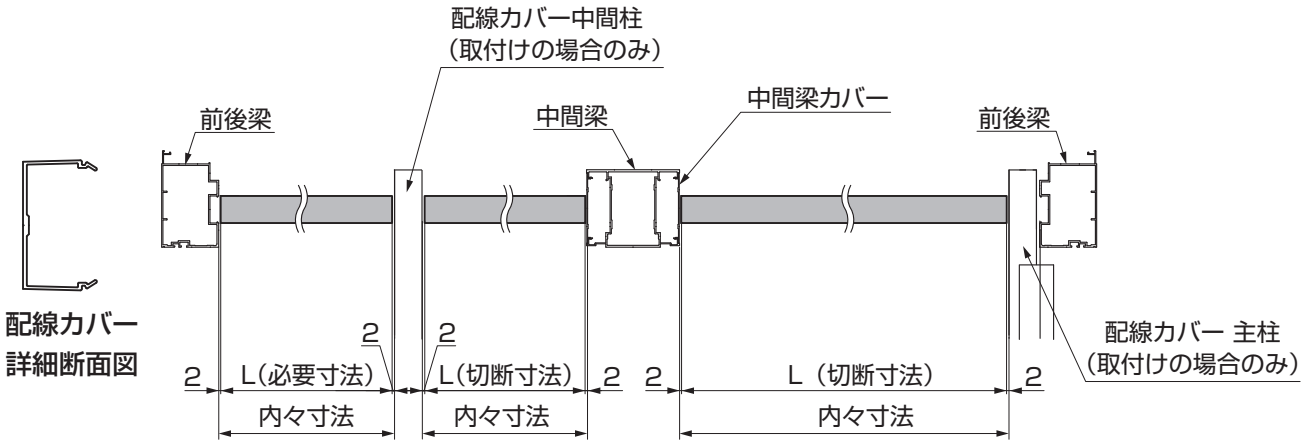
ポイント

- ●配線カバー中間柱を取付けの場合は、配線カバー目隠（桁・前後梁兼用）を、前後梁との内々寸法に切断（現場切断）してください。（図1-3参照）
- ●桁・前後梁の入隅における、配線カバー目隠（桁・前後梁兼用）の切断は、
  「3. 配線カバー（桁・前後梁兼用）の取付け　3-1　配線カバー目隠（桁・前後梁兼用）の取付け　図3-2」を参照してください。
  また、配線カバー主柱を取付けの場合は、前後梁でなく、配線カバー主柱までの内々寸法（※1）を測定して切断（現場加工）してください。

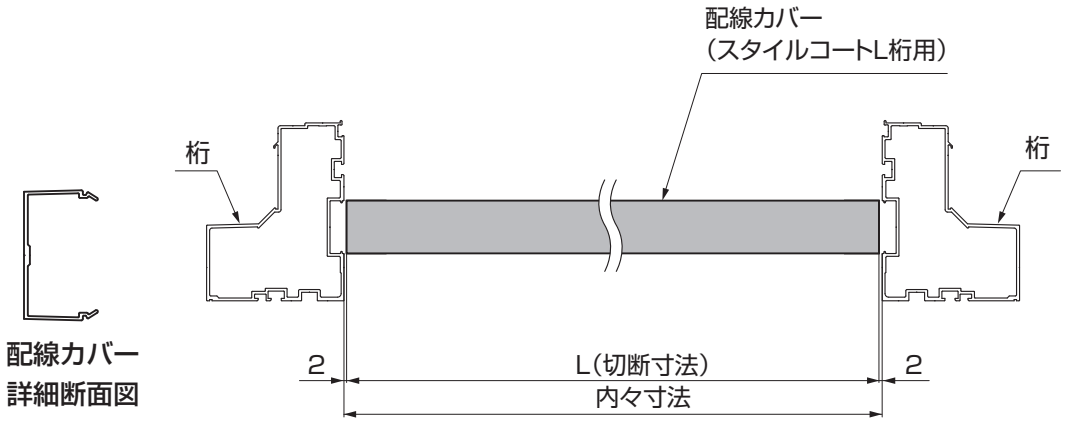
補 足

- ●配線カバー（桁・前後梁）は、配線カバー目隠（桁・前後梁兼用）L＝4000mm　1本、配線カバー端部金具2個が同梱されています。

(2) スタイルコートLの場合



奥行き方向 (桁に取付けの場合)



間口方向 (前後梁に取付けの場合)

図1-4 配線カバー (スタイルコートL桁用)
天井なしの場合の切断〈スタイルコートL〉

①配線カバー (スタイルコートL桁用) を、内々寸法を測定して、切断 (現場加工) してください。(図1-4参照)

ポイント

- ●配線カバー中間柱を取付けの場合は、配線カバー (スタイルコートL桁用) を、前後梁との内々寸法に切断 (現場切断) してください。(図1-4参照)
- ●桁・前後梁の入隅における、配線カバー (スタイルコートL桁用) の切断は、
  「3. 配線カバー (桁・前後梁兼用) の取付け 3-1 配線カバー目隠 (桁・前後梁兼用) の取付け 図3-2」を参照してください。
  また、配線カバー主柱を取付けの場合は、前後梁でなく、配線カバー主柱までの内々寸法 (※1) を測定して切断 (現場加工) してください。

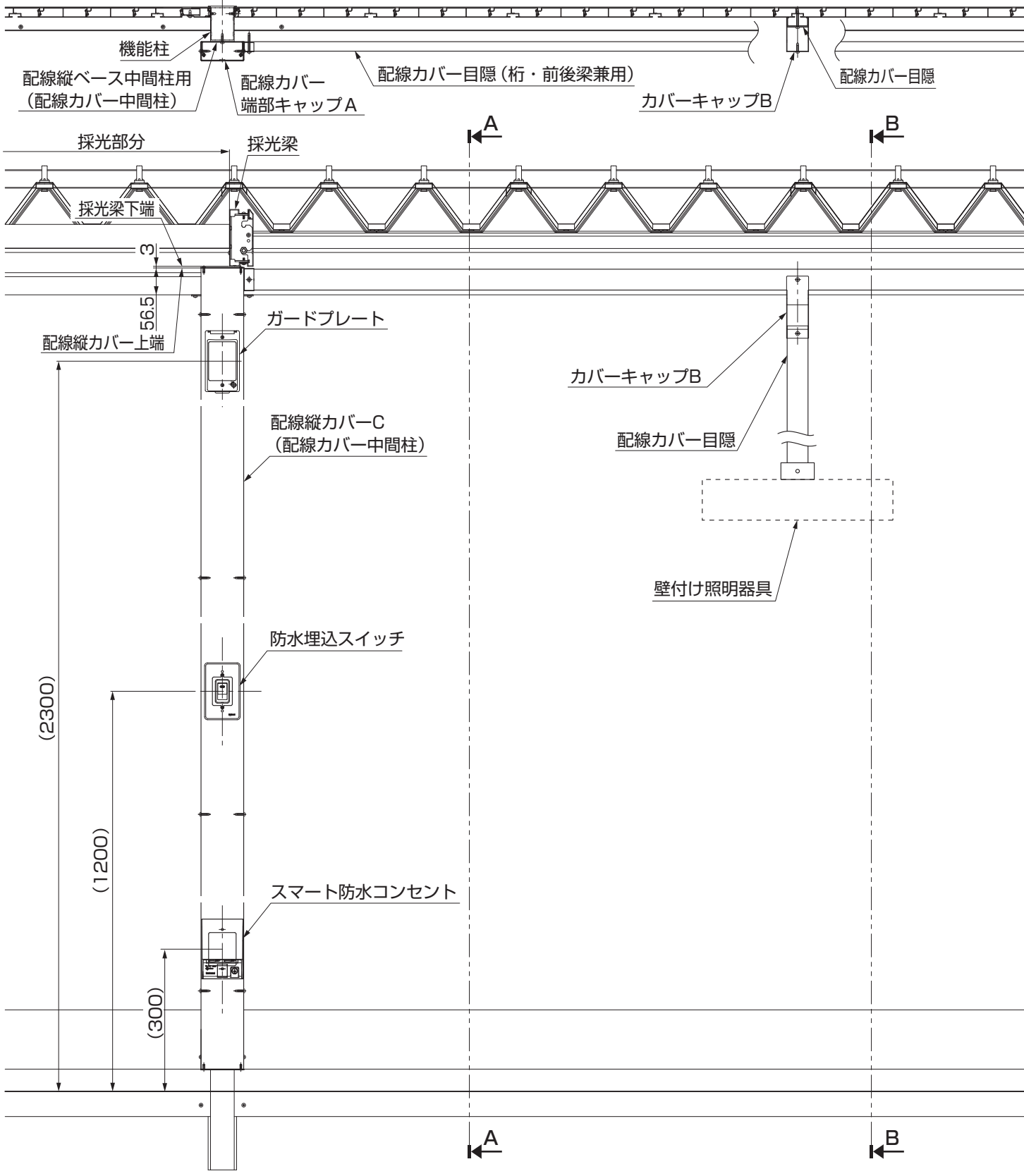
補 足

- ●配線カバー (桁・前後梁) は、配線カバー (スタイルコートL桁用) L=4000mm 1本、配線カバー端部金具2個が同梱されています。

2. 基本寸法図

2-1 （1）スタイルコート（天井なしの場合）

※図は、配線カバー主柱の（換気扇用）防水コンセント取付用を取付けた場合を示します。
※図は、配線カバー中間柱のスイッチ取付用を取付けた場合を示します。



D550_201105A

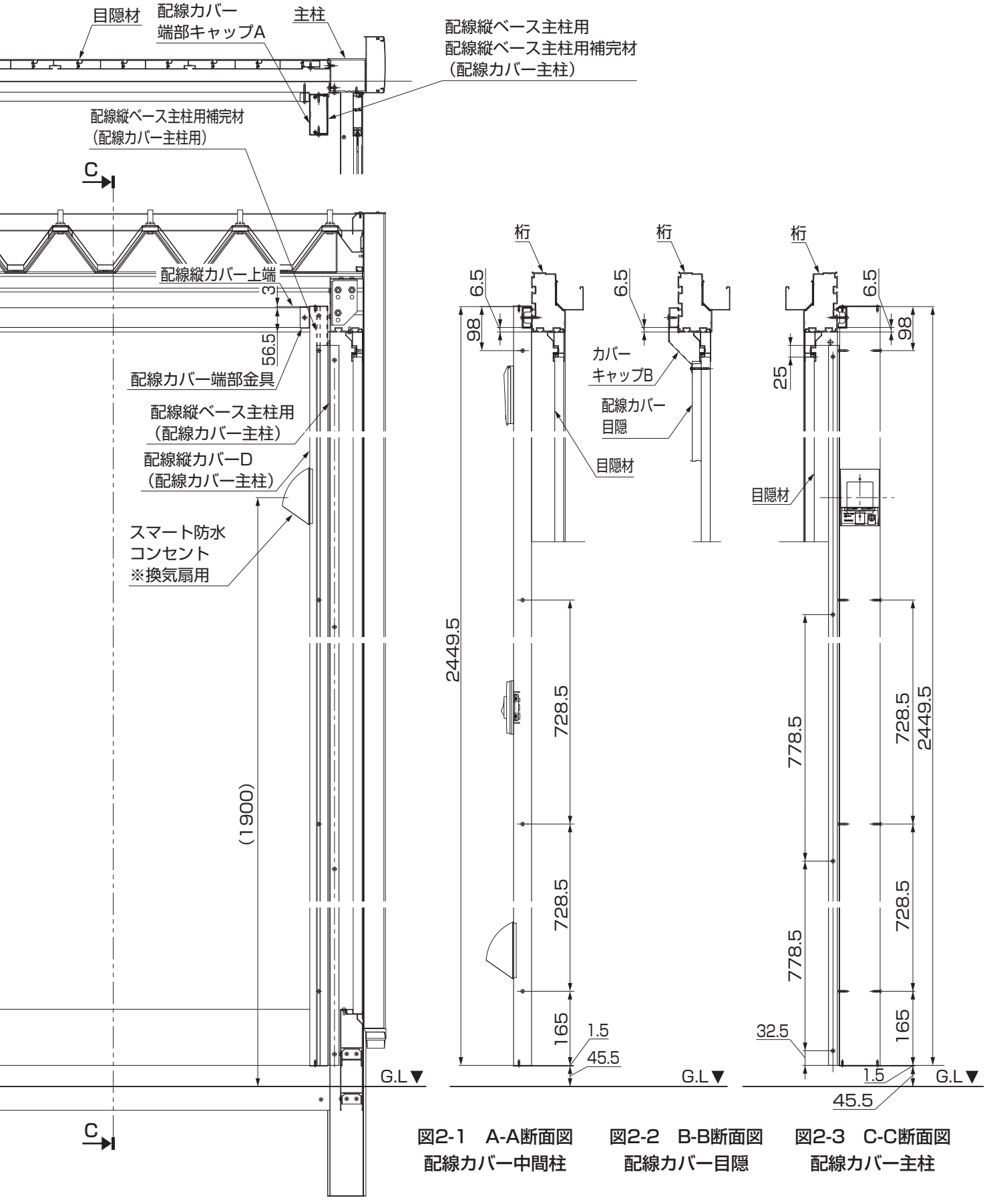


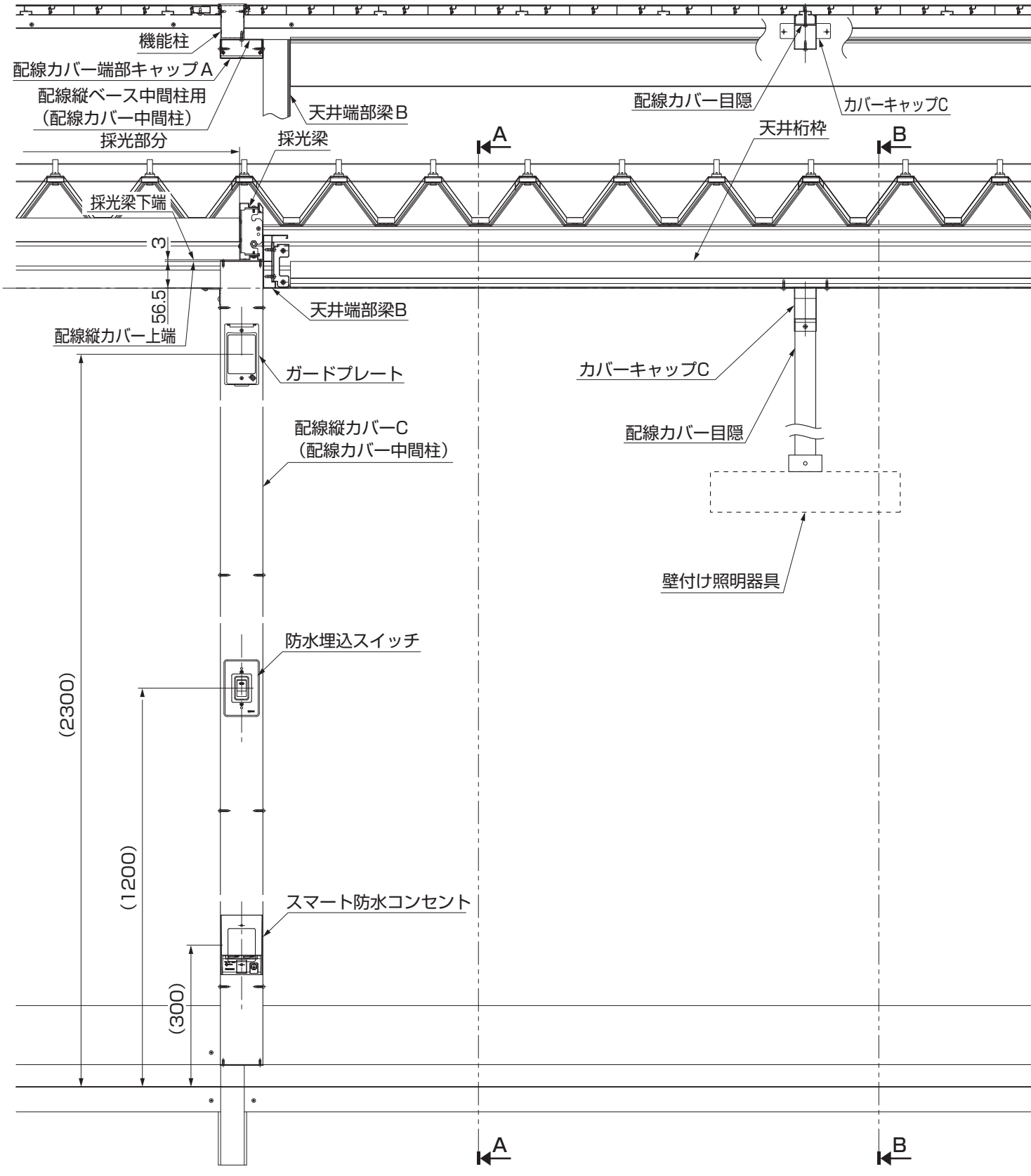
図2-1　A-A断面図
配線カバー中間柱

図2-2　B-B断面図
配線カバー目隠

図2-3　C-C断面図
配線カバー主柱

2-1 （2）スタイルコート（天井ありの場合）

※図は、配線カバー主柱の（換気扇用）防水コンセント取付用を取付けた場合を示します。
※図は、配線カバー中間柱のスイッチ取付用を取付けた場合を示します。



D550_201105A

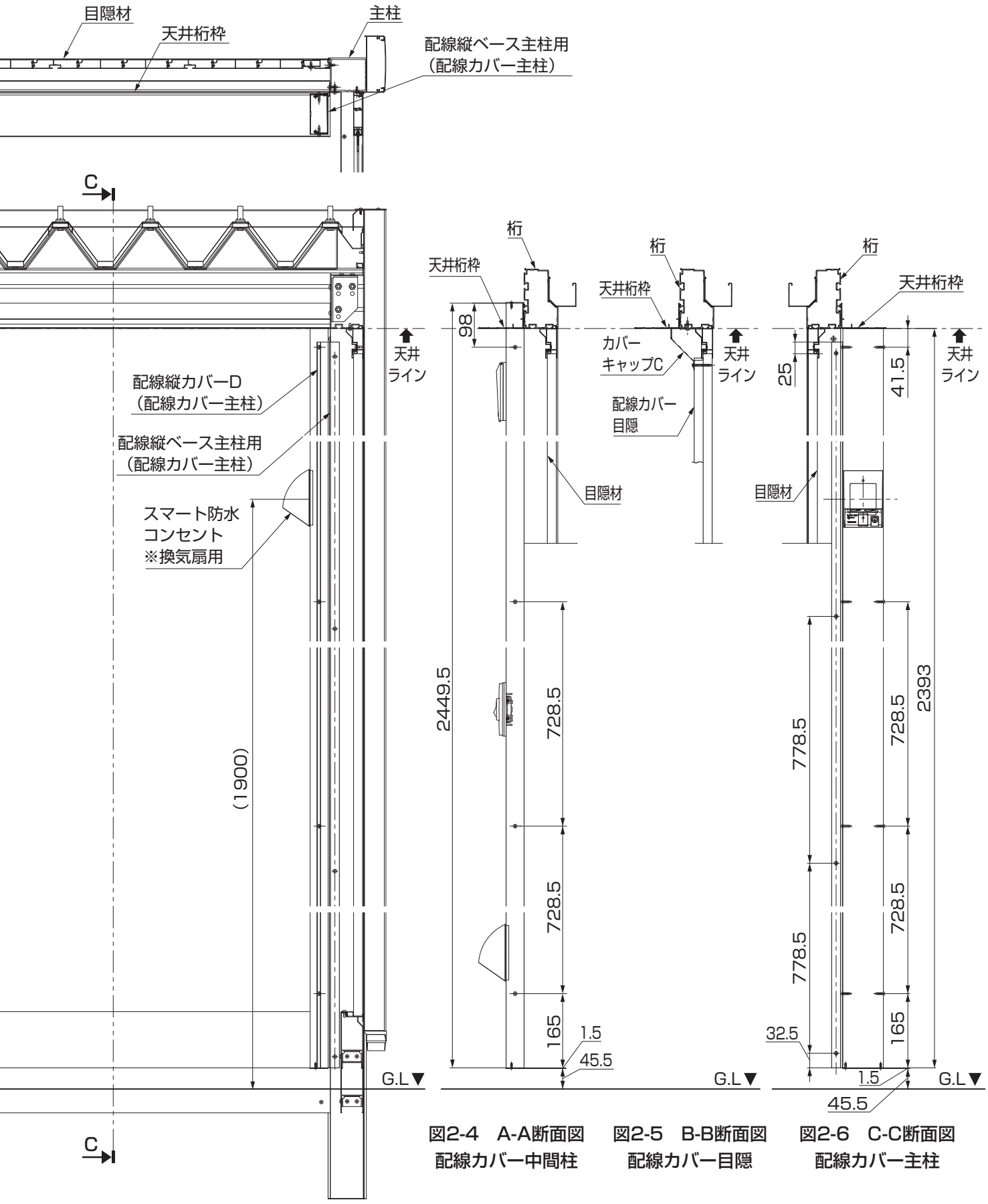


図2-4　A-A断面図
配線カバー中間柱

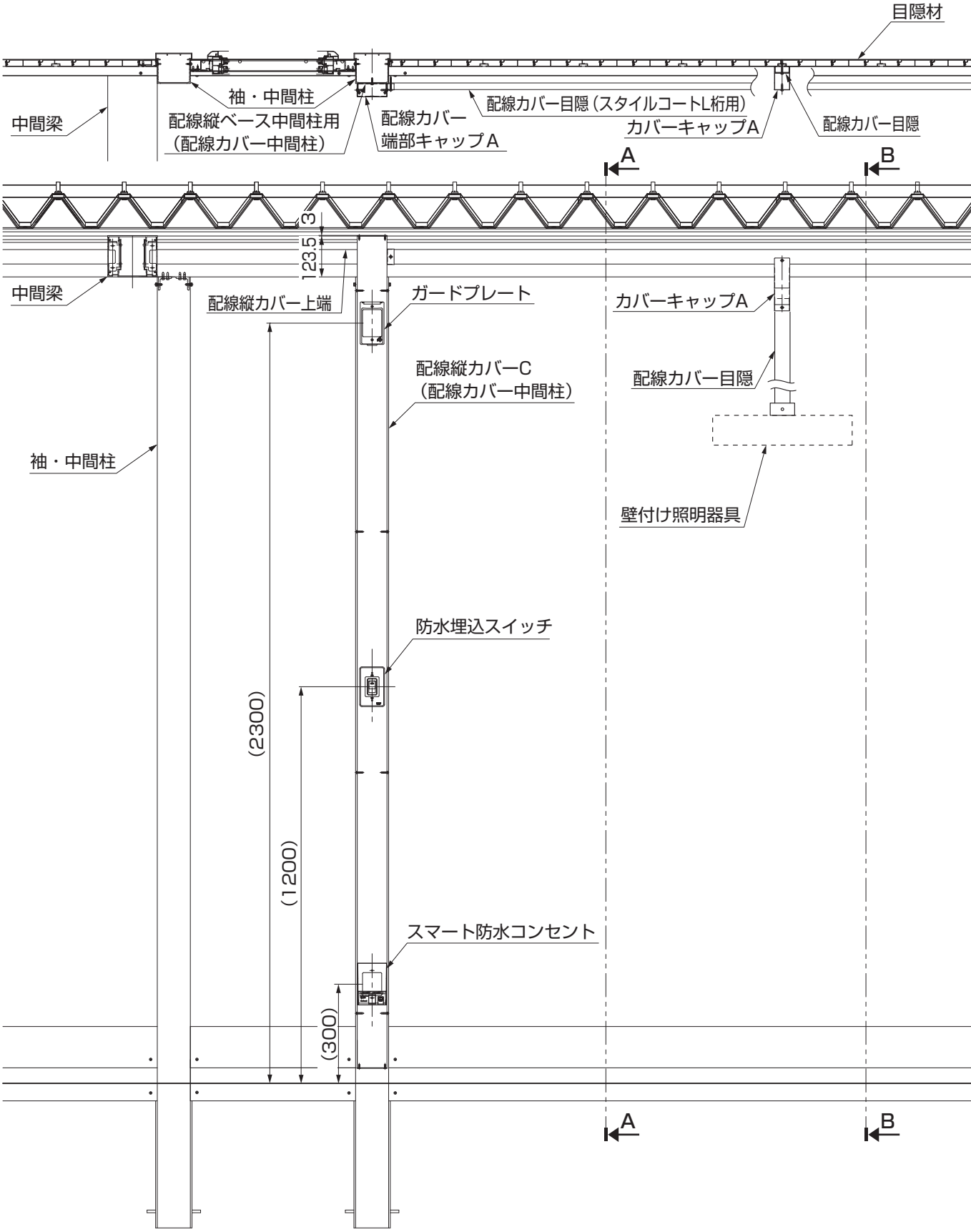
図2-5　B-B断面図
配線カバー目隠

図2-6　C-C断面図
配線カバー主柱

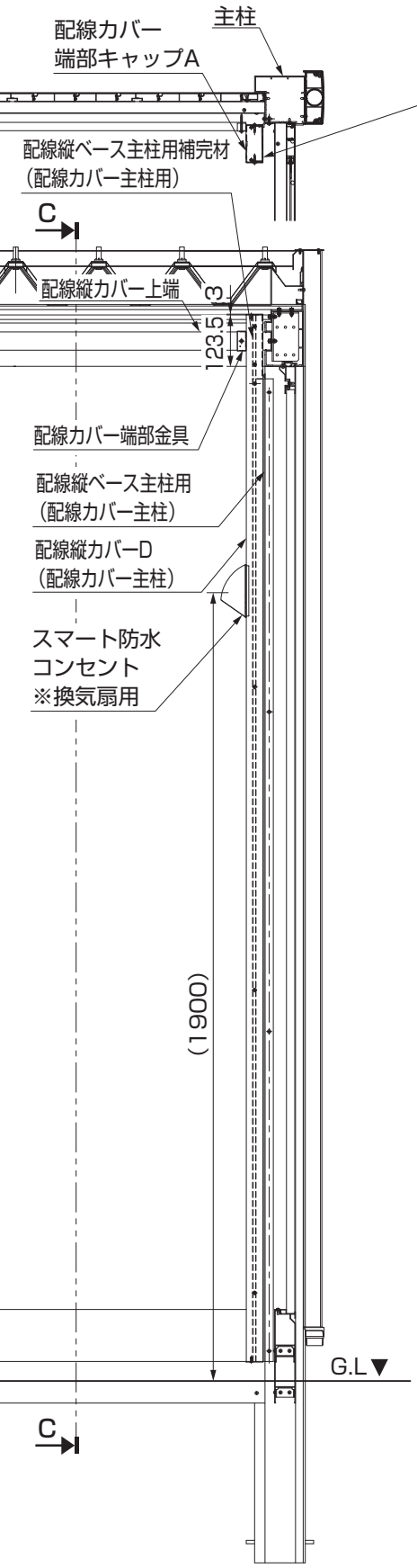
2. （つづき）

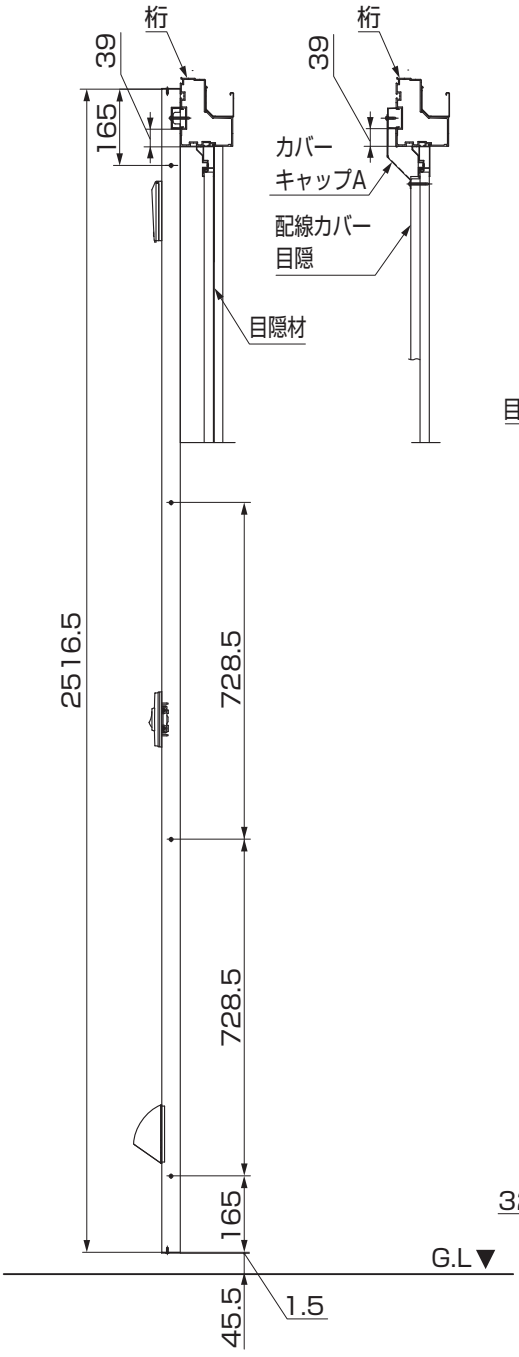
2-2 （1）スタイルコートL（天井なしの場合）

※図は、配線カバー主柱の（換気扇用）防水コンセント取付用を取付けた場合を示します。
※図は、配線カバー中間柱のスイッチ取付用を取付けた場合を示します。



D550_201105A





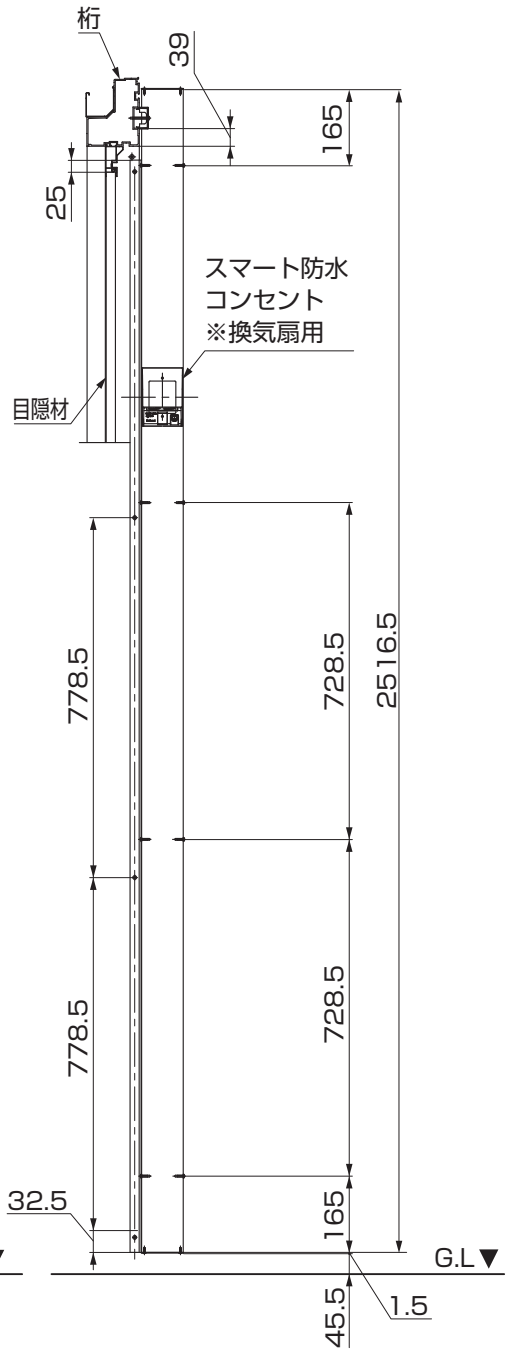


図2-2-1　A-A断面図　配線カバー中間柱

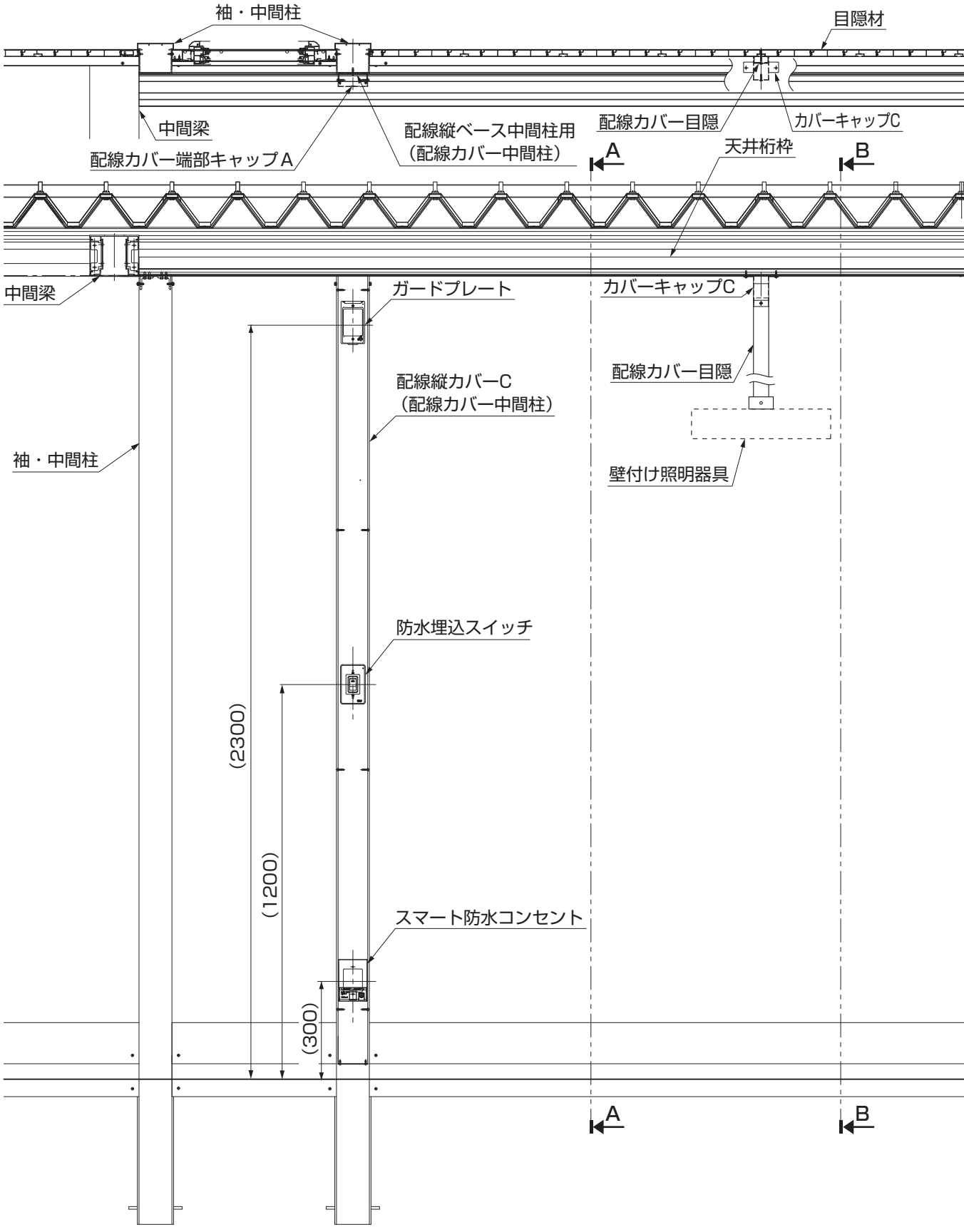
図2-2-2　B-B断面図　配線カバー目隠

図2-2-3　C-C断面図　配線カバー主柱

2.（つづき）

2-2 （2）スタイルコートL（天井ありの場合）

※図は、配線カバー主柱の（換気扇用）防水コンセント取付用を取付けた場合を示します。
※図は、配線カバー中間柱のスイッチ取付用を取付けた場合を示します。



D550_201105A

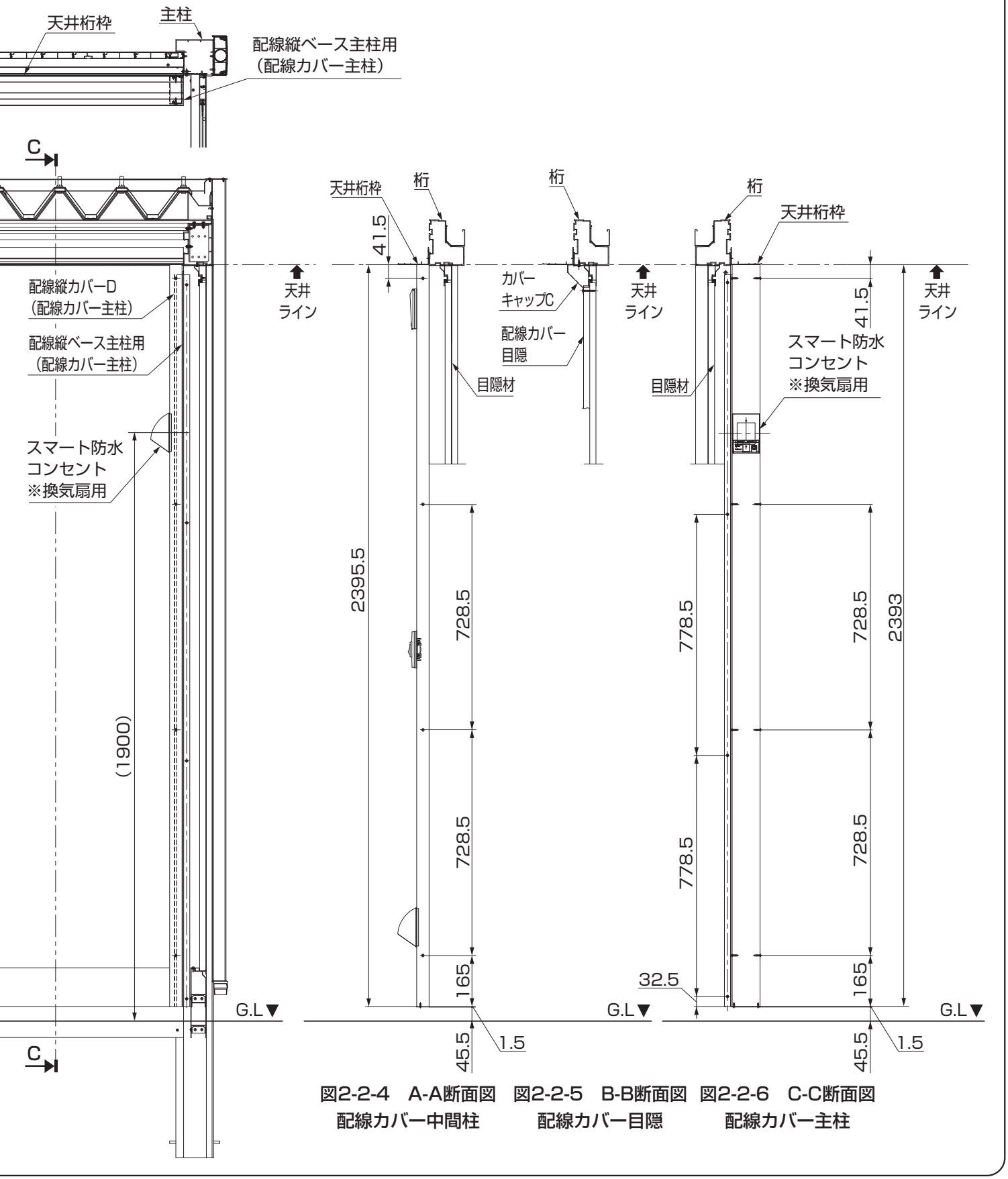


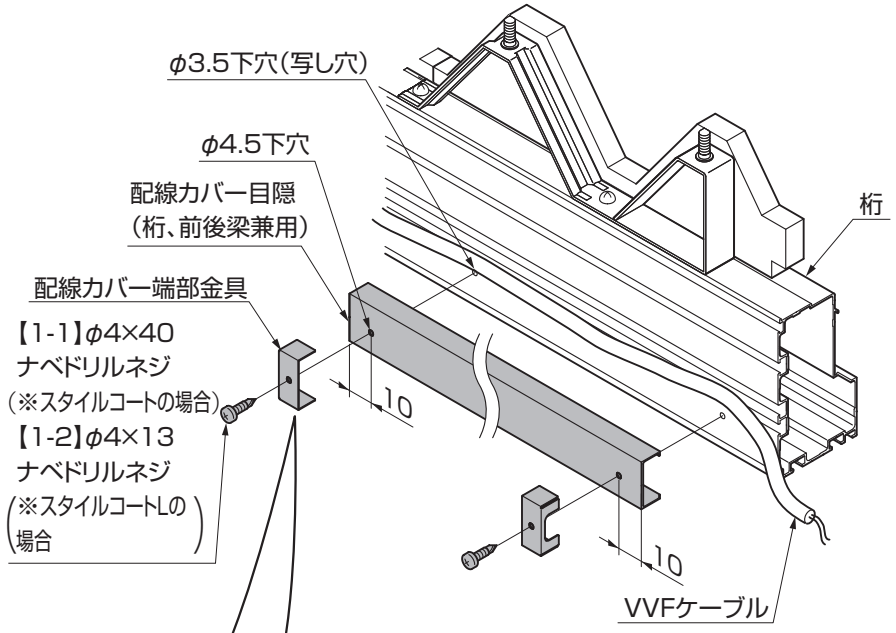
図2-2-4　A-A断面図　配線カバー中間柱

図2-2-5　B-B断面図　配線カバー目隠

図2-2-6　C-C断面図　配線カバー主柱

3. 配線カバー目隠（桁、前後梁兼用）の取付け

3-1　配線カバー目隠（桁、前後梁兼用）の取付け



①配線カバー目隠（桁・前後梁兼用）にφ4.5の下穴をあけてください。
②配線カバーを桁に取付ける位置にあてて、桁にφ3.5の下穴（写し穴）をあけてください。
③配線カバー端部金具を、切断した配線カバー目隠（桁・前後梁兼用）の両端に付けて【1-1】または【1-2】で桁または、前後梁に取付けてください。

注 意

●配線カバー端部金具取付けの際、配線カバー目隠（桁･前後梁兼用）内の配線に注意してネジを取付けてください。配線を傷つけると、漏電する恐れがあります。

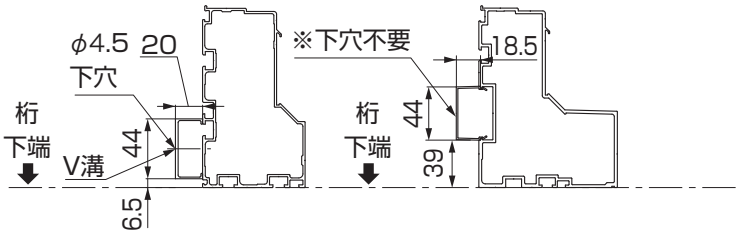


図3-1　間口断面図（標準・縦延長）

ポイント

●スタイルコートLの場合は、配線カバー目隠（桁・前後梁兼用）を、配線カバー（スタイルコートL桁用）に読み替えて、施工してください。
●スタイルコートの場合、配線カバー目隠（桁・前後梁兼用）の下端を桁の下端より6.5mm上にして取付けてください。
●桁・前後梁の入隅における配線カバー目隠（桁･前後梁兼用）は、先付けの配線カバー目隠（桁・前後梁兼用）には、配線カバー端部金具なしで直接取付けて、後付け側は配線カバー端部金具を付けて突きつけて（※1）に取付けてください。（図3-2参照）
●先付けの配線カバー目隠（桁・前後梁兼用）に、後付け配線カバー目隠（桁・前後梁兼用）からの配線を通す穴（※2）をあけてください。
●配線カバー目隠（桁･前後梁兼用）を内装パネル オプション に取付ける場合は、「 3-4 内装パネル取付けの場合の配線カバー目隠しの取付け」を参照してください。

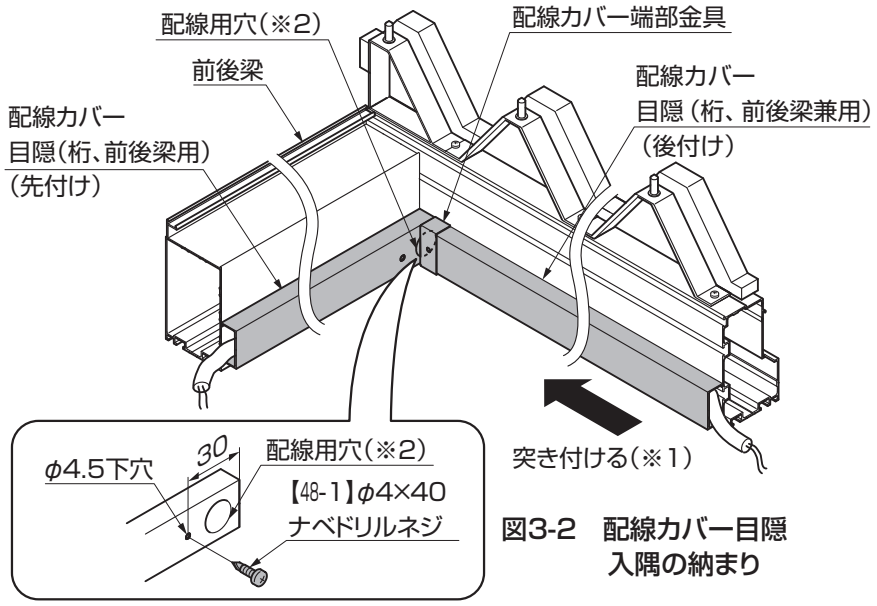


図3-2　配線カバー目隠
入隅の納まり

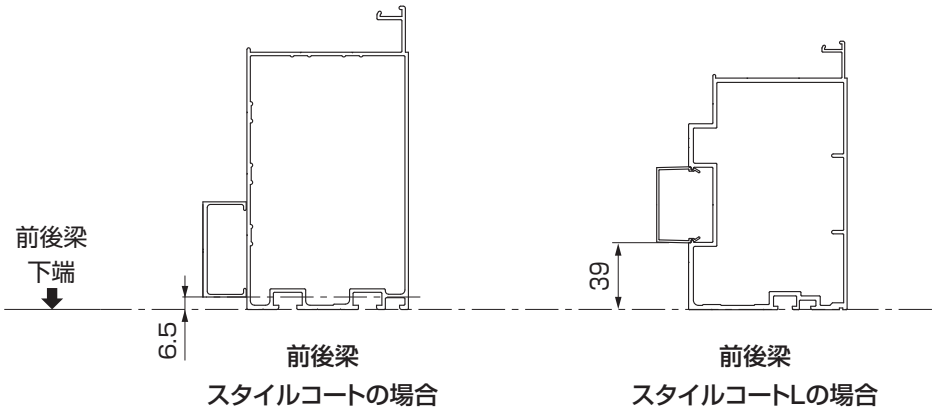
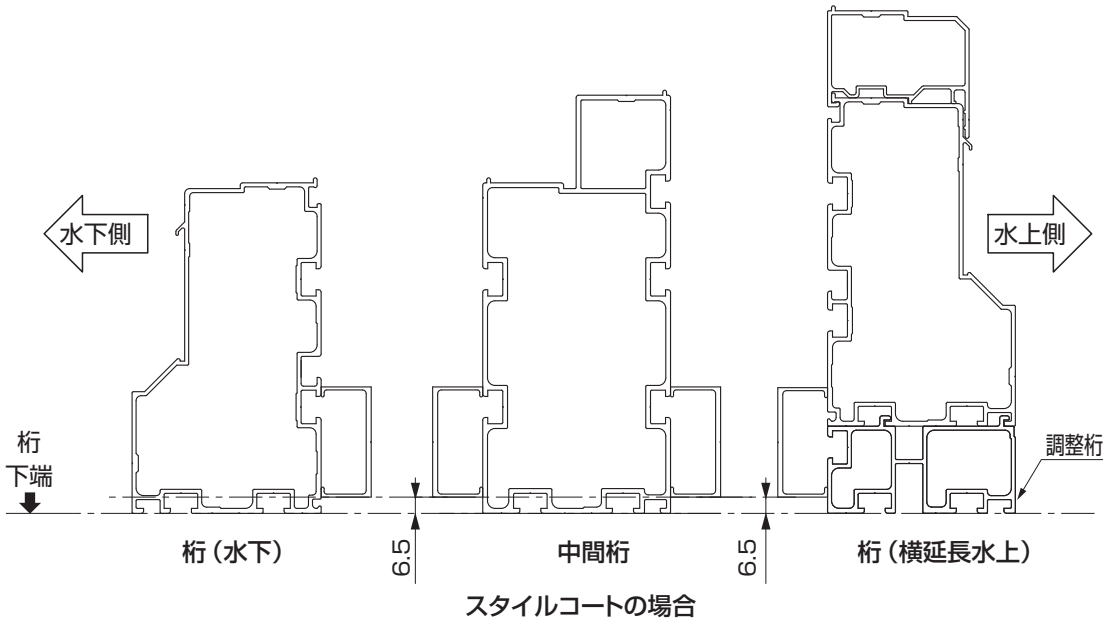


図3-3　奥行き断面図



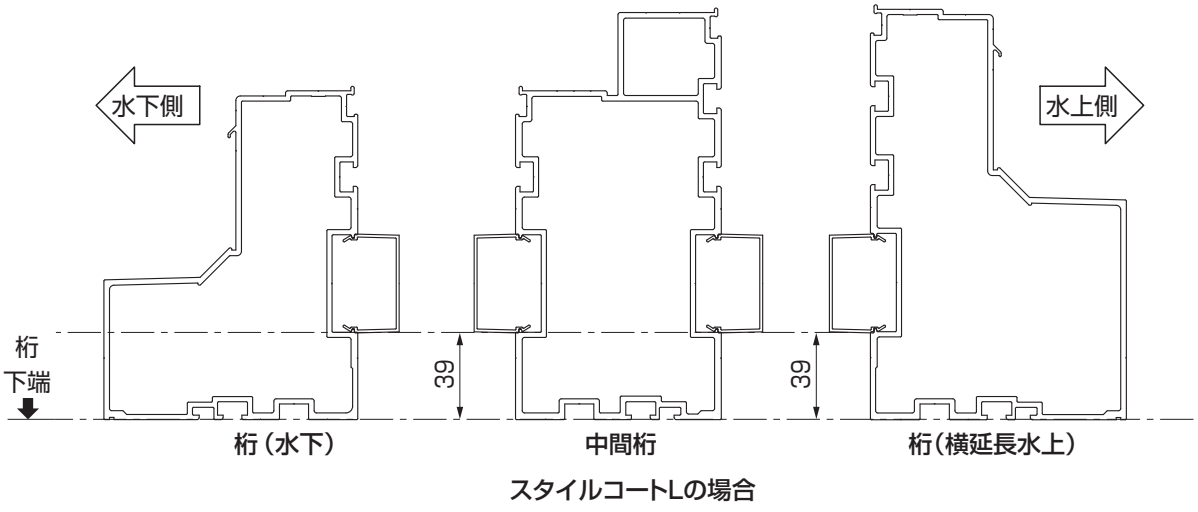
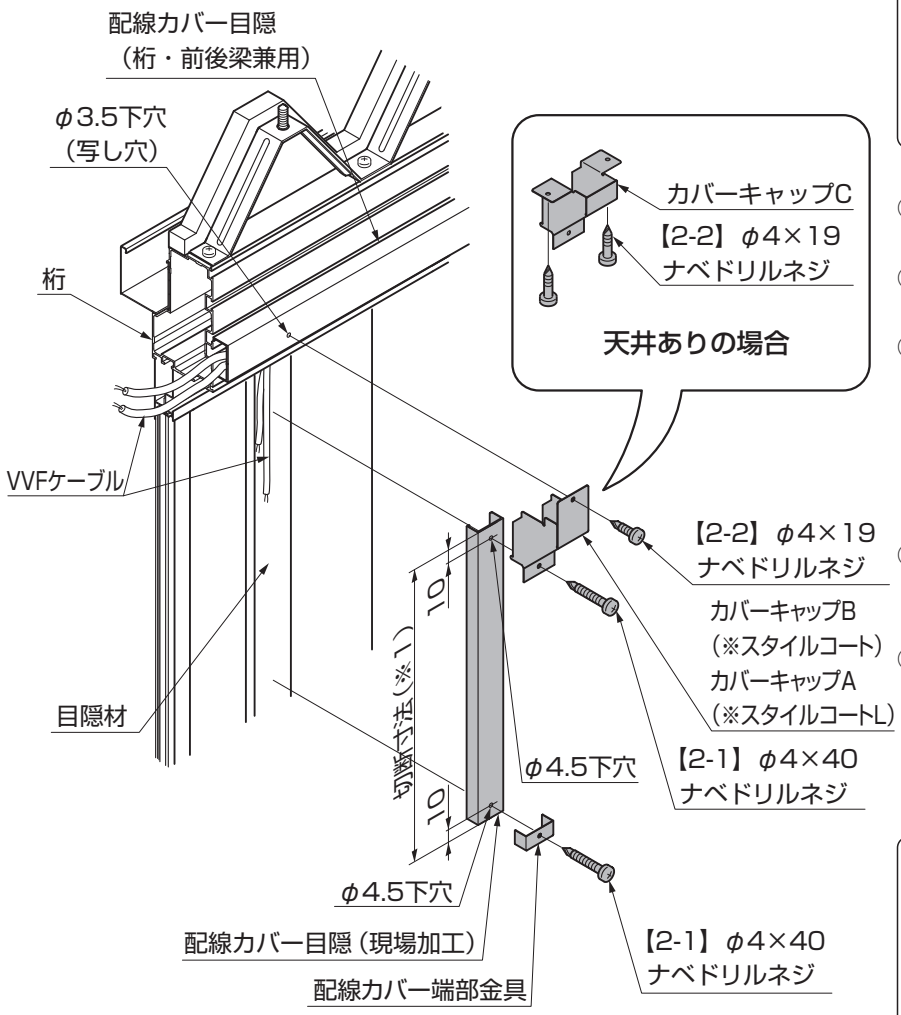


図3-4　間口断面図（横延長・縦横延長の場合）

3.（つづき）

3-2　配線カバー目隠の取付け



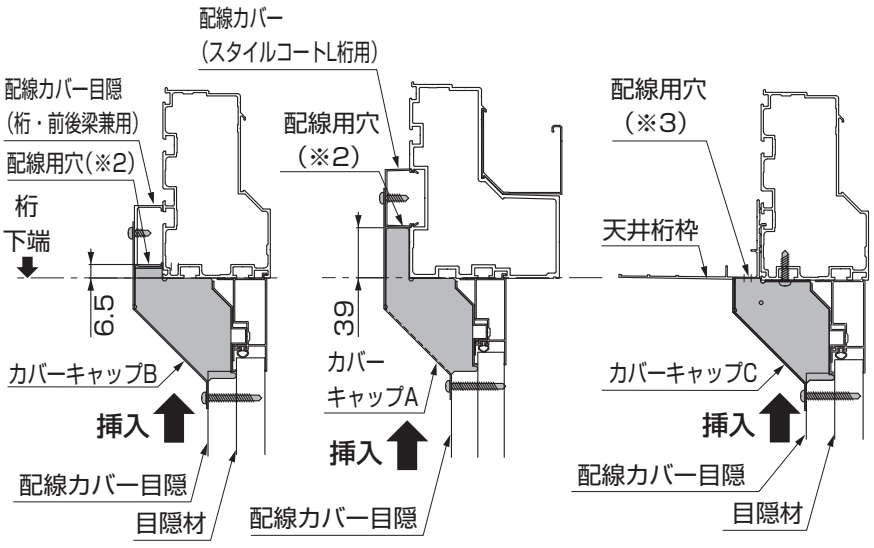


図3-5　天井なしの場合

図3-6　天井ありの場合
（カバーキャップCの取付け）

ポイント

●天井ありの場合はカバーキャップCを、天井なしの場合はカバーキャップB（またはA）を取付けてください。（図3-5、図3-6参照）

①配線カバー目隠を適当な高さ寸法に切断してください。
②配線カバー目隠の上下にφ4.5の下穴をあけてください。
③天井なしの場合は、カバーキャップB（またはA）を【2-2】で配線カバー目隠（桁・前後梁兼用）に、天井ありの場合は、カバーキャップCを【2-2】で桁の下面にφ3.5の下穴（写し穴）をあけて取付けてください。
④配線カバー目隠を、カバーキャップの下側に挿入して【2-1】で取付けてください。
⑤配線カバー端部金具を【2-1】で取付けてください。

注 意

●カバーキャップ取付けの際、配線カバー目隠（桁・前後梁兼用）内の配線に注意してネジを取付けてください。配線を傷つけると、漏電する恐れがあります。

ポイント

●配線カバー目隠の切断寸法（※1）は、「3-3　照明の取付け」を参照して、照明取付け位置を確認してください。
●配線カバー目隠（桁・前後梁兼用）、配線カバー（スタイルコートL桁用）にカバーキャップB（またはA）へ配線を通すための、穴（※2）をあけてください。
●天井取付けの場合は、天井桁枠に配線を通す穴（※3）をあけてからカバーキャップCを取付けてください。

D550_201105A

3-3　照明の取付け

（1）PK-9型
（線のあかり）

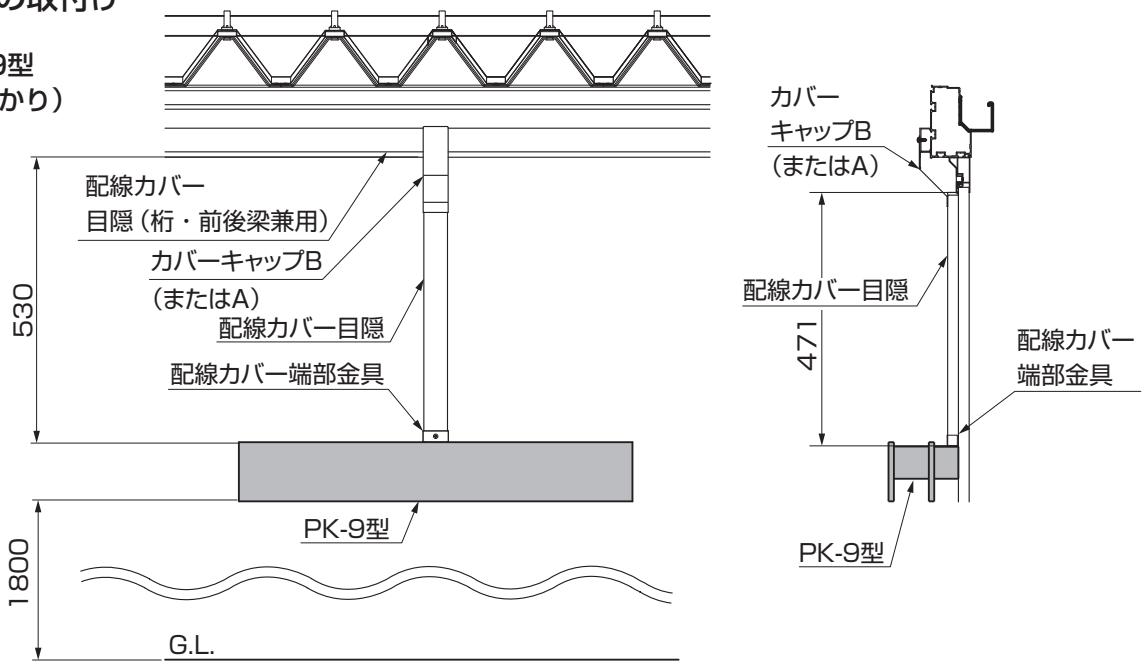


図3-7　G.L.＋1800に取付けの場合

①照明器具の取付け位置と配線カバー端部金具の取付け位置を確認してください。

ポイント

●配線カバー目隠には配線カバー端部金具を１つ使用します。もう１つは他の照明器具取付けの際に使用してください。
●照明器具の取付けは、照明に付属されている取付説明書を参照してください。

3-4　配線カバー目隠の取付け（内装パネル オプション 取付けの場合）

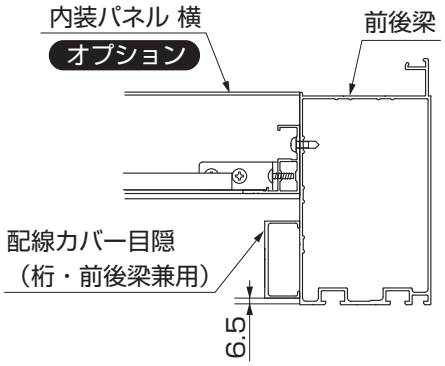


図3-8　内装パネル
奥行き方向の場合

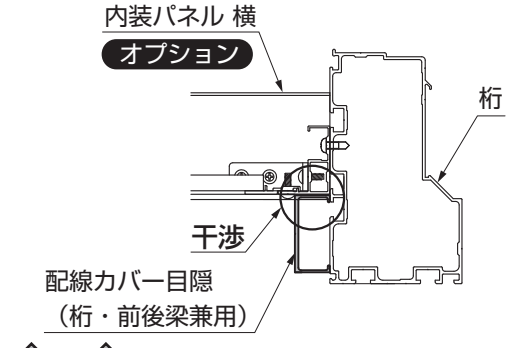


図3-9　内装パネル 横
（天井用）
間口方向の場合

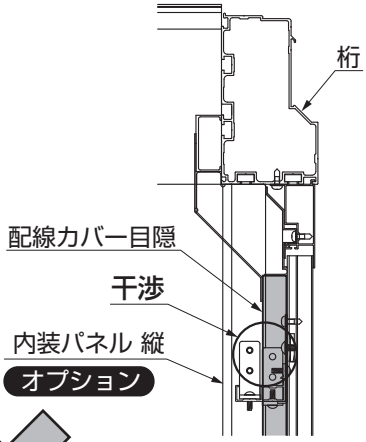


図3-10　内装パネル 縦
（壁付け）
取付けの場合

①前後梁の配線カバー目隠の取付位置を確認してください。（図3-8参照）

注意

●スタイルコートLの場合は、全てにおいて内装パネル取付けの際、配線カバー（スタイルコートL桁用）は、取付けできません。
●内装パネル 横を間口方向取付けの場合は、桁への配線カバー目隠（桁・前後梁兼用）の取付けはできません。
●内装パネル 縦を取付けの場合は、配線カバー目隠の取付けはできません。

3.（つづき）

（2）PK-8型・PK-12型（面のあかり）

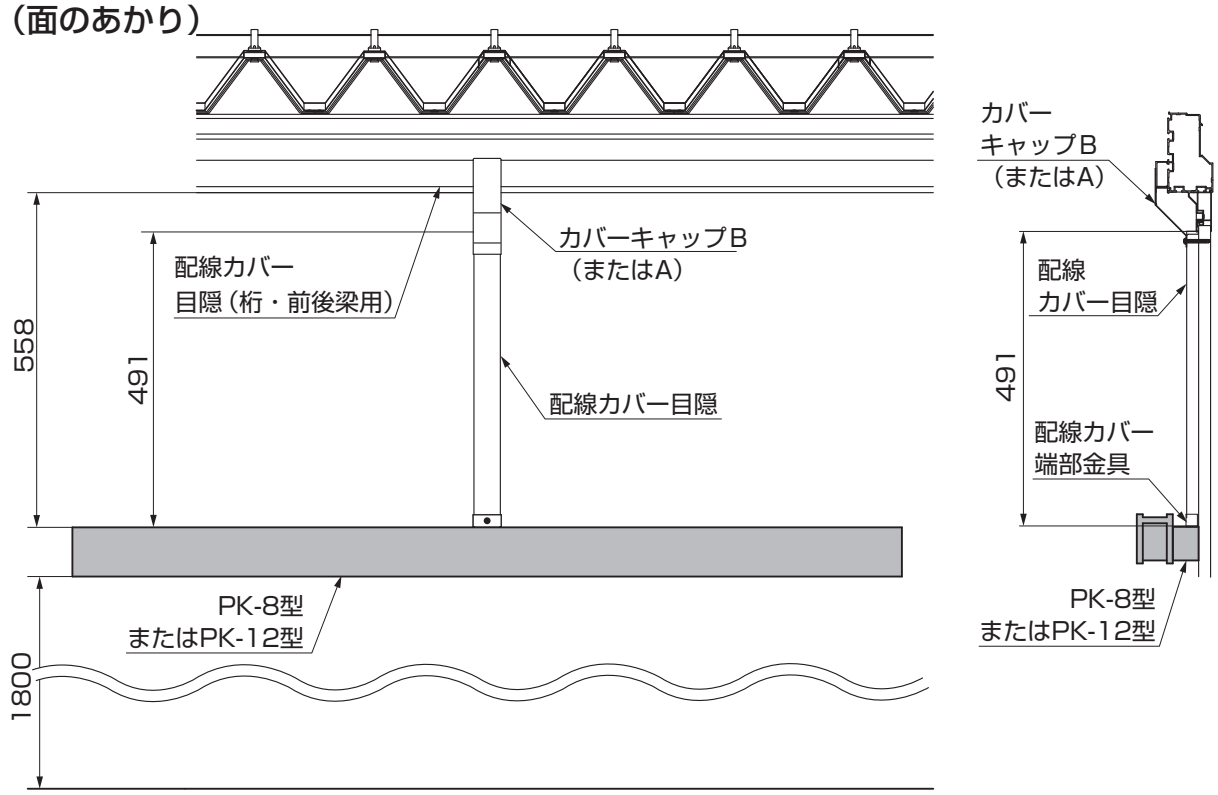


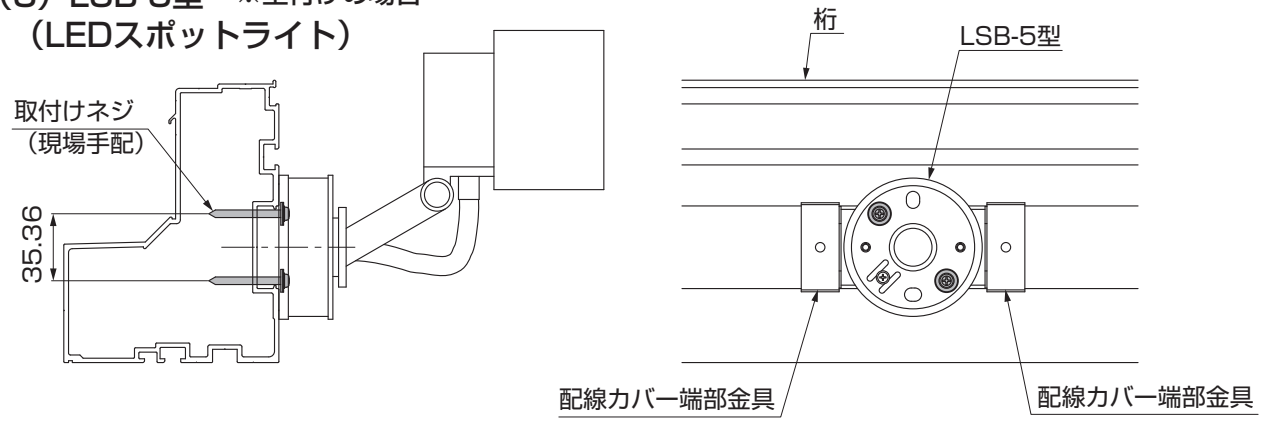
図3-11　G.L.＋1800に取付けの場合

①照明器具の取付け位置と配線カバー端部金具の取付け位置を確認してください。

ポイント

●照明と配線カバー目隠の継ぎ目は配線カバー端部金具を１つ使用します。もう１つは他の照明器具を取付けの際使用してください。
●照明器具の取付けは、照明に付属されている取付説明書を参照してください。

（3）LSB-5型　※壁付けの場合（LEDスポットライト）



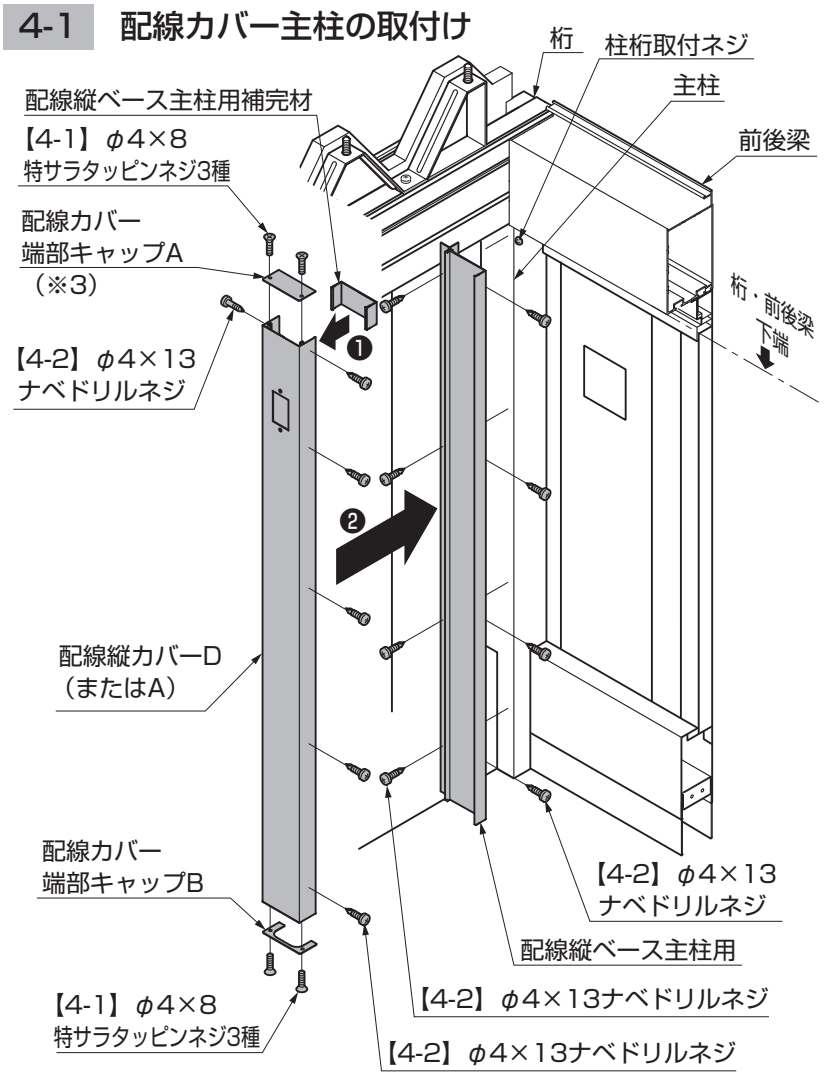
①照明器具の取付位置と配線カバー端部金具の取付位置を確認してください。

ポイント

●照明器具の取付ネジの位置と、両端の配線カバー端部金具の取付位置を確認してください。
●照明器具の取付けは、照明に付属されている取付説明書を参照してください。

4. 配線カバー主柱・中間柱の取付け

4-1　配線カバー主柱の取付け



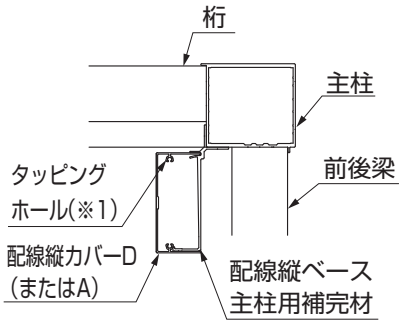


図4-1　天井なし

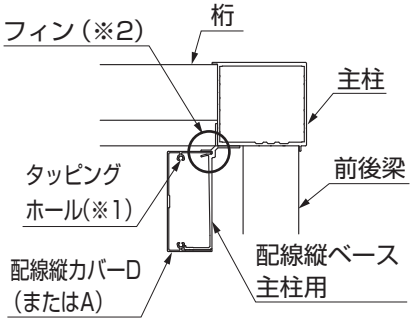


図4-2　天井あり

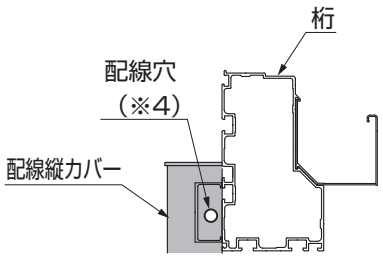


図4-3　配線縦カバーA・Dの穴加工

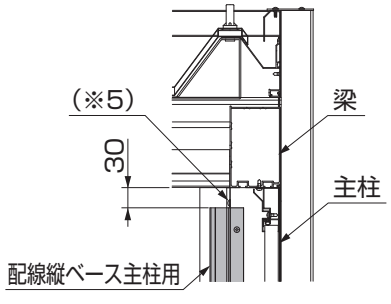


図4-4　配線縦ベース主柱用取付け位置

①配線縦ベース主柱用を主柱に【4-2】で取付けてください。

ポイント

●配線縦ベース主柱用は、桁・前後梁下端より30mm低い部分を上端にして取付けてください。

②天井なしの場合は、配線縦ベース主柱用に配線縦ベース主柱用補完材を【4-2】で取付けてください。
③配線カバー端部キャップAを、配線縦カバーのD（またはA）上端に【4-1】で取付けてください。
④配線カバー端部キャップBを、配線縦カバーD（またはA）の下端に【4-1】で取付けてください。

ポイント

●配線縦カバーD（またはA）にはタッピングホールがついています。配線カバー端部キャップ取付けネジはタッピングホール（※1）に取付けてください。（図4-1、4-2参照）

補足

●配線カバー端部キャップAは、天井ありの場合は使用しません。（※3）

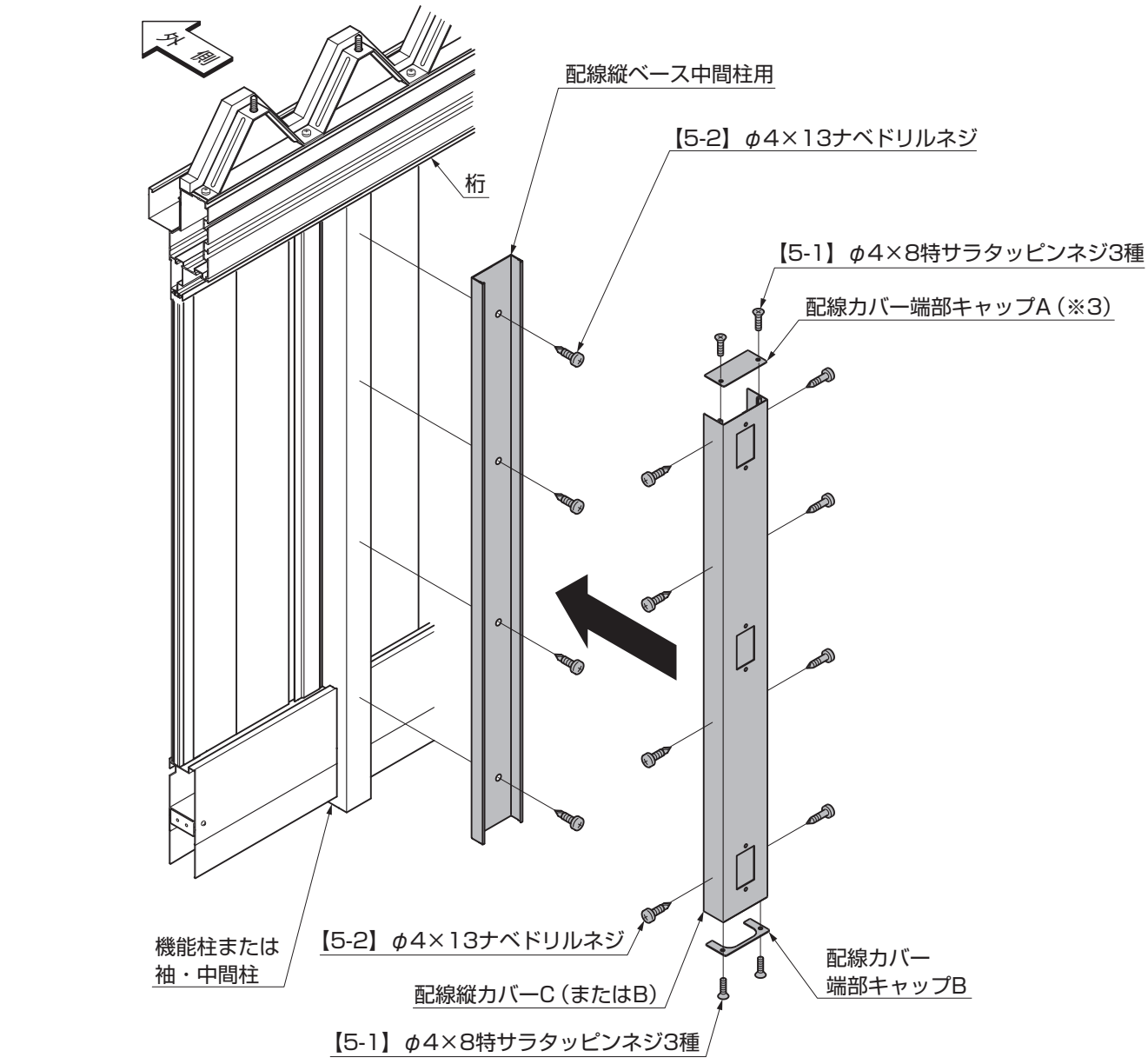
⑤配線縦カバーを、配線縦ベース主柱用に【4-2】で取付けてください。

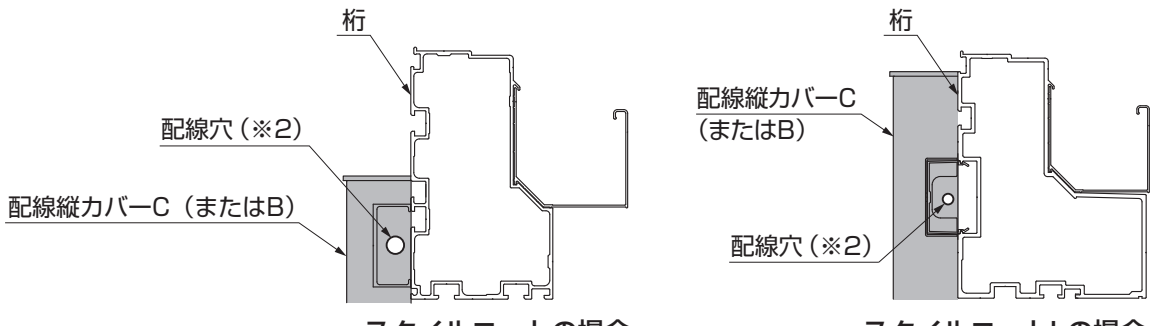
ポイント

●配線縦ベース主柱用補完材を、取付けてください。
●配線縦ベース主柱用には、フィンがあります。フィン（※2）に引っ掛けるようにして配線縦カバーD（またはA）を取付けてください。
●天井なしの場合は、桁・前後梁から、主柱へ配線を通す場合は、配線縦カバーに配線カバー目隠（桁・前後梁兼用）からの配線を通す穴（※4）をあけてください。（図4-2参照）
●配線縦ベース主柱用を取付ける際は主柱のネジ（※5）を避けて取付けてください。（図4-4参照）

4.（つづき）

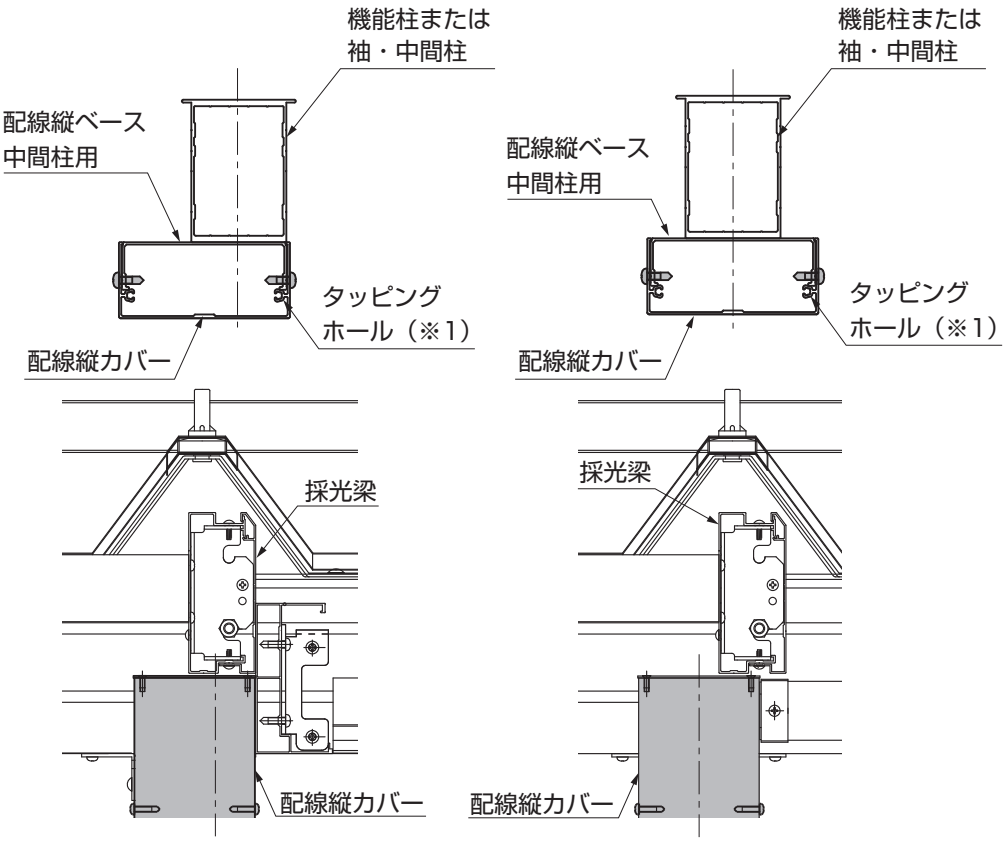
4-2　配線カバー中間柱の取付け





スタイルコートの場合　　スタイルコートLの場合

図4-5　配線縦カバーの穴加工



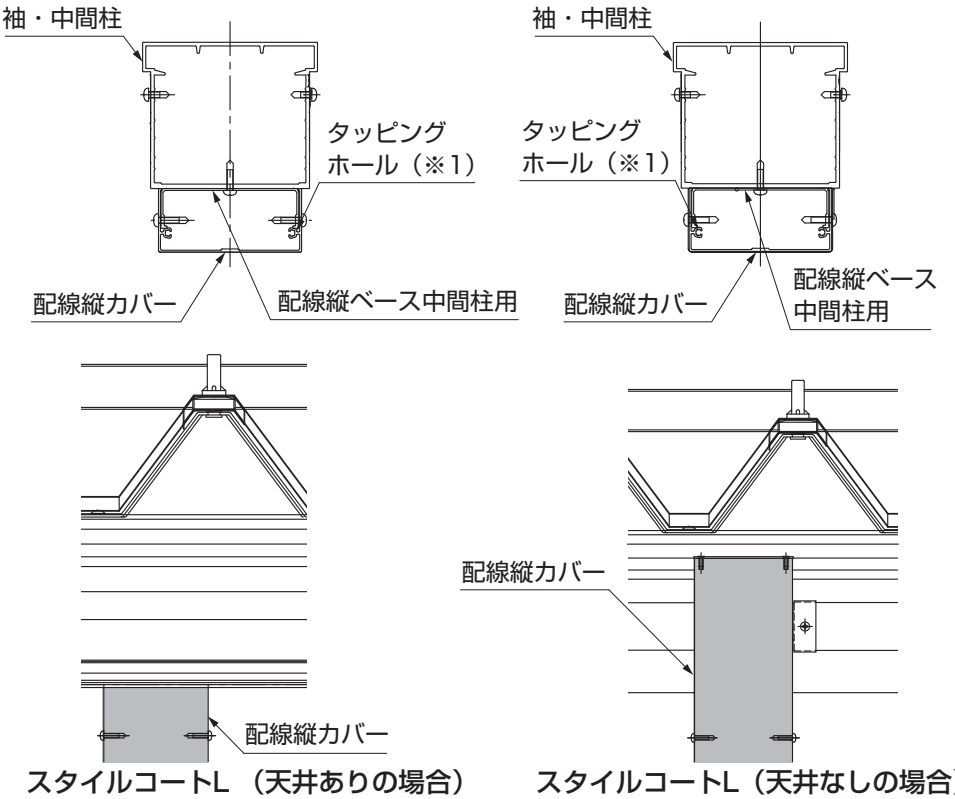


図4-6　配線カバー中間柱の取付け位置

①配線縦ベース中間柱用を、機能柱または袖・中間柱に【5-2】で取付けてください。
②配線カバー端部キャップAを、配線縦カバーC（またはB）の上端に【5-1】で取付けてください。
③配線カバー端部キャップBを、配線縦カバーC（またはB）の下端に【5-1】で取付けてください。

ポイント

●天井あり・天井なしにより採光梁部分の、配線縦ベース中間柱用の機能柱への取付け位置が異なります。取付け位置に注意してください。（図4-6参照）
●配線縦カバーにはタッピングホールがついています。配線カバー端部キャップの取付けネジはタッピングホール（※1）に取付けてください。（図4-6参照）

補足

●配線カバー端部キャップAは、天井ありの場合は使用しません。（※3）

④配線縦カバーC（またはB）を、配線縦ベース中間柱用に【5-2】で取付けてください。

ポイント

●天井なしの場合に桁・前後梁から中間柱へ配線を通す場合は、配線縦カバーC（またはB）に配線カバー目隠（桁・前後梁兼用）からの配線を通す穴（※2）をあけてください。
（図4-5参照）

4.（つづき）

4-3 ガードプレートの取付け

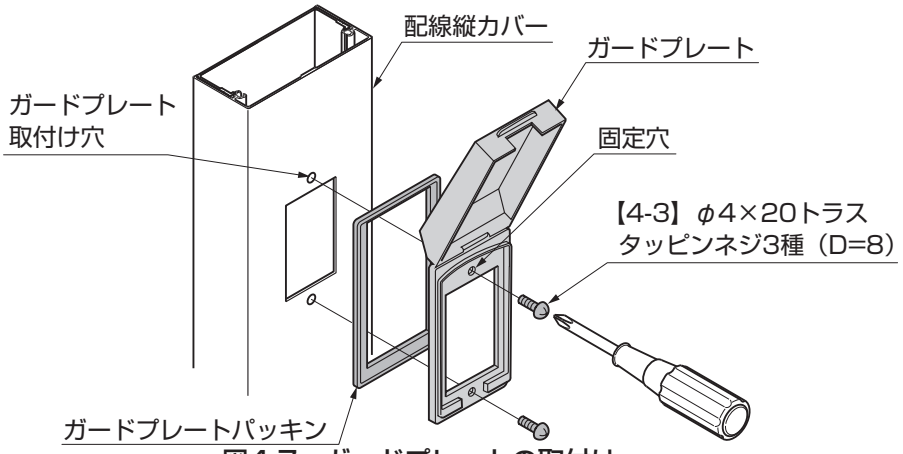


図4-7　ガードプレートの取付け

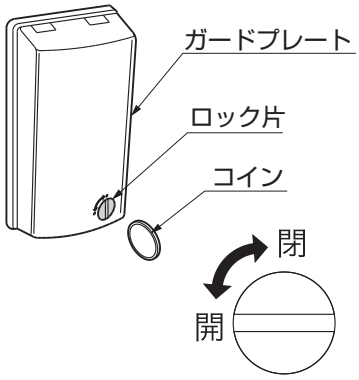


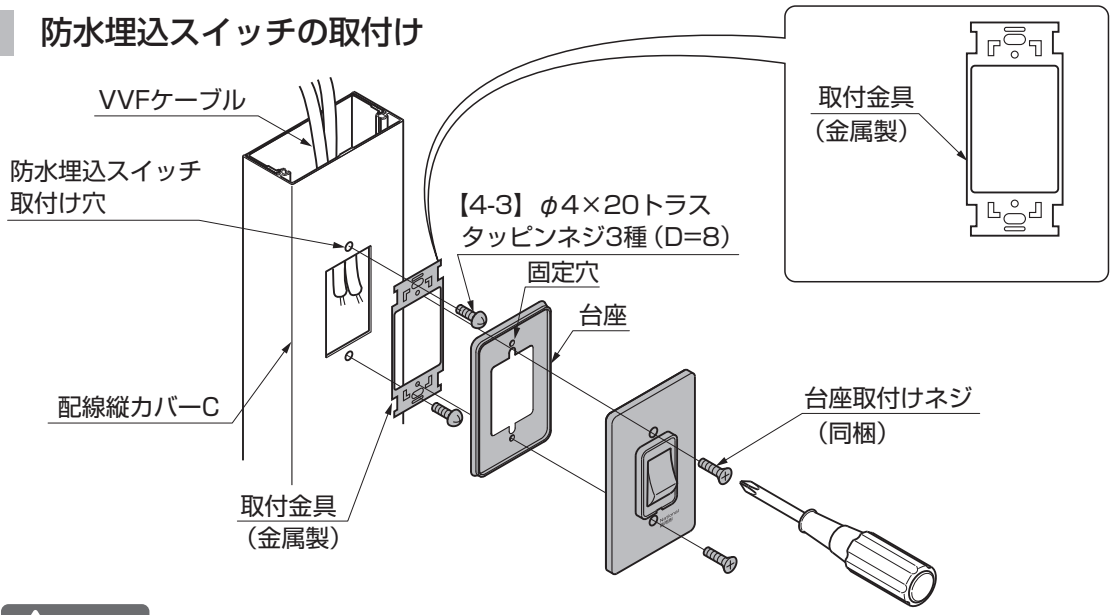
図4-8　コイン施錠

①ガードプレートの固定穴を、配線縦カバーのガードプレート取付け穴に合わせてください。
②配線縦カバーにガードプレートを【4-3】で取付けてください。

補 足

●スイッチカバーは、コインで開閉できます。

4-4 防水埋込スイッチの取付け



警 告

●安全のため、家側からのAC100V電源を切ってください。感電のおそれがあります。
●AC100Vの分岐や配線工事は電気工事有資格者が行なってください。
●結線する場合、電線を奥まで差し込んでください。差込み不十分な場合、発熱し、焼損や火災の原因となります。

①防水埋込スイッチについている、台座取付けネジを取外してください。
②防水埋込スイッチの取付金具（金属製）の固定穴を、配線縦カバーCの防水埋込スイッチ取付け穴に合わせてください。
③防水埋込スイッチの取付金具を、配線縦カバーCに【4-3】で取付けてください。
④防水埋込スイッチの台座とプレートを配線縦カバーに取付けた台座に、台座取付けネジで取付けてください。

補 足

●防水埋込スイッチの取付金具（金属製）は、出荷時にスイッチプレート、台座防水パッキンに組み込まれています。

4-5　スマート防水コンセントの取付け

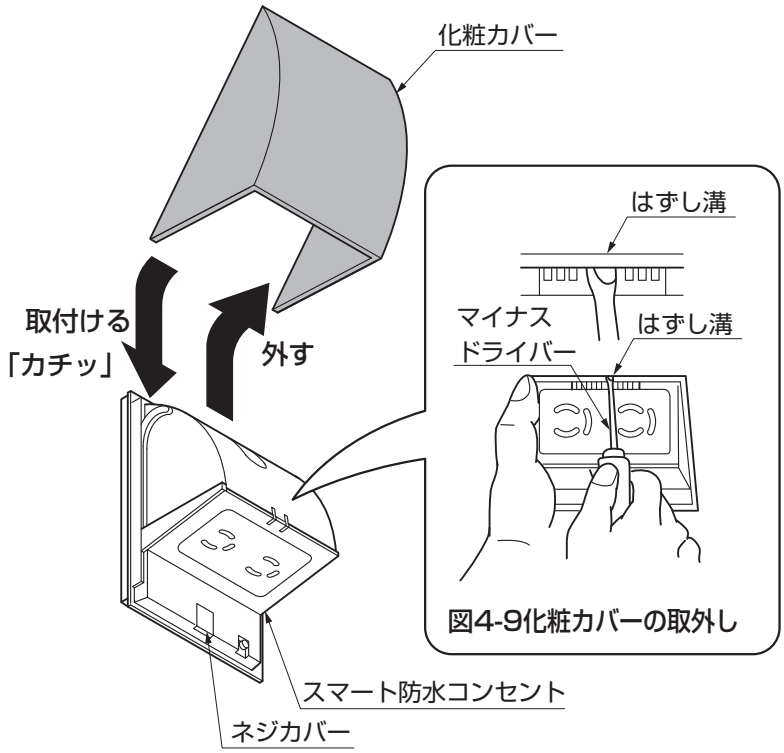


図4-9化粧カバーの取外し

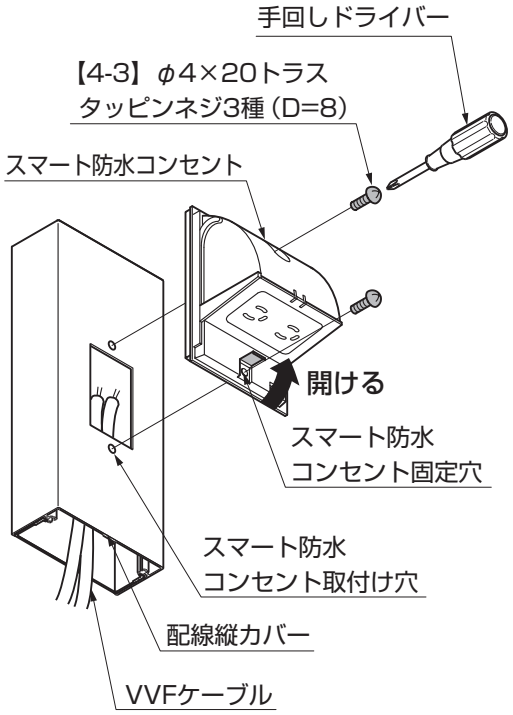


図4-10

⚠ 警 告

●安全のため、家側からのAC100V電源を切ってください。感電のおそれがあります。
●AC100Vの分岐や配線工事は電気工事有資格者が行なってください。
●結線する場合、電線を奥まで差し込んでください。差込み不十分な場合、発熱し、焼損や火災の原因となります。

①コンセントの化粧カバーを外してください。

⚠ 注 意

●マイナスドライバーは無理にこじらないでください。カバーが破損する恐れがあります。

ポイント

●はずし溝にマイナスドライバーを差込んで、カバーをはずしてください。

②下側のネジカバーを開けてください。
③スマート防水コンセント固定穴を、配線縦カバーのコンセント取付け穴に合わせてください。
④配線縦カバーにスマート防水コンセントを【4-3】で取付けてください。

⚠ 注 意

●スマート防水コンセントが壁面より浮き出ていると、防水効果が悪くなります。
●取付けネジの閉め過ぎに注意してください。器具が大きく変形し、カバーが取付けできなくなります。

⑤化粧カバーを取付けてください。

ポイント

●化粧カバーを取付ける際は、「カチッ」と音がするまでスライドさせて取付けてください。

4.（つづき）

4-6　小型漏電ブレーカーの取付け

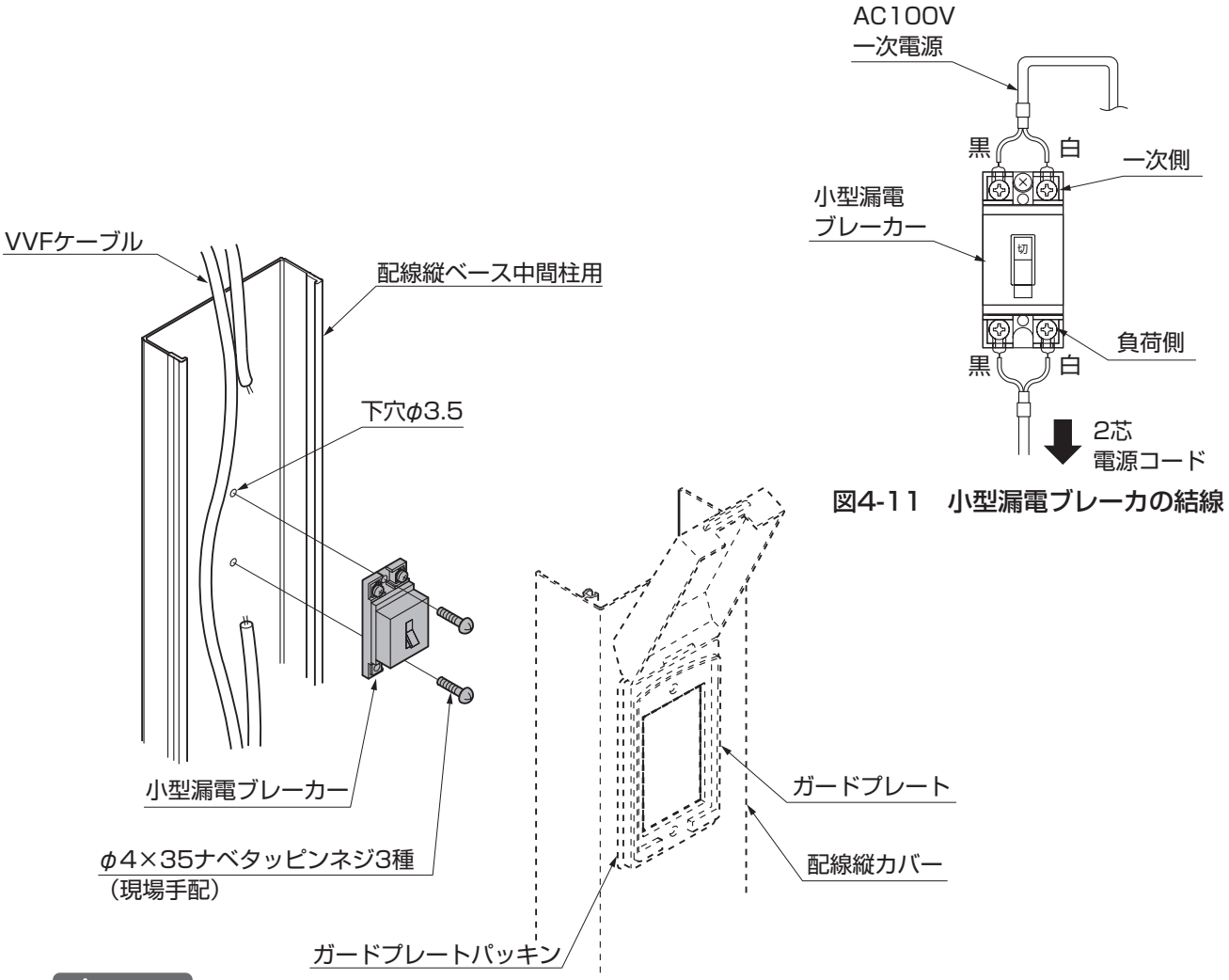


図4-11　小型漏電ブレーカの結線

⚠ 警 告

●安全のため、家側からのAC100V電源を切ってください。感電のおそれがあります。
●AC100Vの分岐や配線工事は電気工事有資格者が行なってください。
●結線する場合、電線を奥まで差し込んでください。差込み不十分な場合、発熱し、焼損や火災の原因となります。

①配線縦ベース中間柱用にφ3.5の下穴（現場加工）をあけてください。
②小型漏電ブレーカーを配線縦ベース中間柱用に取付けネジで取付けてください。

ポイント

●小型漏電ブレーカー（過電流保護付き漏電ブレーカー）は、使用量に合わせて選択してください。弊社規格品は、定格電圧100V、定格電流15Aです。それ以上の電流を使用するおそれのある場合は別途手配してください。
●小型漏電ブレーカーへの結線は上側が一次側、下側が負荷側です。

補 足

●漏電ブレーカー取付ネジは現場手配です。φ4×35ナベドリルネジ3種以上の長さのネジを準備してください。

取説コード
D550
JZZ618517
201105A_1041